

日本鍼灸新報

No. 684

2023年(令和5年)1月24日発行



全頁カラー版は
ホームページに掲載

発行者:要 信義 / 発行:(公社)日本鍼灸師会 www.harikyu.or.jp



第17回公益社団法人日本鍼灸師会 全国大会in愛知 開催

令和4年12月3日・4日、「ヒトを診る-東洋医学の全体観-」をテーマにウインクあいち(名古屋市)で開催されました。

Check!!

▶▶ P9-11

PICK UP!



新年のご挨拶

要信義会長・加藤勝信厚生労働大臣などから新年のご挨拶です。

▶▶ P2-8



中国四国・近畿・ 東海北陸ブロック会議

全国3つのブロックで会議が開催されました。

▶▶ P13-14



全国師会長会議

東京都内の会場とWebとのハイブリッド形式で開催しました。

▶▶ P14



鍼灸大学研究紹介

宝塚医療大学での「電子灸・N灸」を用いた免疫系の変化に関する研究です。

▶▶ P16-17

新年のご挨拶

公益社団法人 日本鍼灸師会
会長 要 信義



明けましておめでとうございます。早いもので、令和2年初頭以来の新型コロナウイルスの流行から3年がたち、収束拡散のなかで私たちの生活環境も様変わりしましたが、会員の皆様にとって良い年となることを祈念いたします。

昨年2月に新会館の引渡し完了し、5月末に事務所の移転も完了しました。また、新会館取得の税務上の処理や行政上の諸手続きなど複雑な処理も、事務局・法人管理・会計事務所・顧問弁護士の皆様のおかげで無事完了しています。一階賃貸部分には歯科医院が入居し9月より診療を開始しています。残る部分も各方面に募集をかけていますので、善良な賃借人が入居されることを期待しています。

会長職について1年半が過ぎましたが、未だわからないことも多く会務に振り回されており、空回りしている感は否めません。今年は理事選挙の年です。将来を担い、理事会を活性化する若い世代の立候補者を熱望します。各師会の先生方には柔軟な思考と活気ある有望な人材の推薦をお願いします。現在の理事会メンバーも奮闘していますが、将来に向けた夢のある活動を企画推進できる人材がまだまだ必要です。

令和4年度は停滞していた事業も徐々におこなえるようになり、第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国

大会 in 愛知「ヒトを診る—東洋医学の全体観—」はハイブリッド開催にもかかわらず会場参加者が多数を占め、盛会のうちに終えることができました。第18回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 近畿「わが街、はり・きゅうのある暮らし～バック・トゥ・ザ・鍼灸～」は初の試みとして、近畿ブロック全体が担当し開催いたします。会場は大阪府の南に位置する泉佐野市スターゲイトホテル、日程は令和5年10月21日・22日の二日間です。大勢の皆様のご参加をお待ちいたします。

さて、個人的には大きな期待をもっていたICD-11第26章伝統医学の病態モジュール1経脈病症の統計調査ですが、現実はなかなか厳しいことがわかりました。日本におけるデータ収集の手法上、国を挙げておこなうことは困難という報告を受けています。しかしながら日本鍼灸師会としては、JLOM（日本東洋医学サミット会議）と協力して鍼灸における電子カルテの標準化を実現し、何とか経脈病症のデータ収集をおこなえる体制を築くことを目指しています。

また、国を挙げてIT化が叫ばれているなか、マイナンバーカードの保険証機能付加や諸々申請業務の電子化などは鍼灸師にも例外なく訪れます。マイナンバーカードの保険証機能付加については、現状は国民のカード取得率、保険証付加率、病院薬局での受入れ率など当初の予定より低い数字ですが、将来を見据え早い段階でIT環境に慣れておくことも、われわれには重要なことと考えます。

新型コロナウイルスが引き起こした生活環境の変化や、今後も起こりうる新たな感染症禍や災害のなかで鍼灸師が社会に貢献できることを目指し、年頭のご挨拶といたします。

CONTENTS

新年のご挨拶	P2-8
第18回全国大会 in 近畿のご案内	P6
第17回全国大会 in 愛知報告	P9-11
「日本鍼灸新報」メール送信のご案内	P11
第5回理事会報告	P12
全国ブロック会議報告	P13-14
全国師会長会議報告	P14
第5回DSAM講習会報告	P15
鍼灸師養成大学における基礎・臨床研究の紹介	P16-17
地域ケア説明会報告	P18
労災保険の募集について	P18
第1回地域ケアZoom行脚報告	P19
会員マイページ機能新設のお知らせ	P19

令和5年度代議員選挙について	P20-22
鍼灸ネットカードについて	P22
日鍼会オリジナル冊子のご案内	P23
はり・きゅう保険ガイド改訂のお知らせ	P23
準会員の募集について	P24
生涯研修会理事長表彰者	P24
免許保有証交付申請状況	P25
会員の異動	P25
会務報告(9月・10月・11月・12月)	P26
2023年度行事予定	P27
編集後記	P27
賠償責任保険のご案内	P28
日鍼会保障プランのご案内	P28

年頭所感

厚生労働大臣
衆議院議員 加藤 勝信



はじめに

令和5年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

厚生労働大臣に就任し、約五か月が経ちました。この間、国民の皆様の安全・安心の確保に万全を期すべく努力してまいりました。引き続き、私自身が先頭に立ち、厚生労働省一体となって様々な課題に全力で取り組んでまいります。

感染症対策等

新型コロナウイルス感染症対策については、昨年9月から、オミクロン株の特性等を踏まえ、高齢者等重症化リスクの高い方に対する適切な医療の提供を中心とする考え方に転換し、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていくため、ウィズコロナに向けた新たな段階への移行を進めています。

昨年10月には、今冬の感染拡大と季節性インフルエンザとの同時流行に備えた対応に万全を期すため、重症化リスク等に応じた外来受診・療養の流れをお示しするとともに、保健医療体制の強化・重点化策を取りまとめ、各都道府県においても体制整備を進めていただいています。

新型コロナワクチンについては、昨年9月からはオミクロン株対応ワクチンの接種を開始しており、引き続き、希望する全ての方が接種を受けられるよう、有効性や安全性等について丁寧な情報提供に努めるとともに、自治体と連携して接種を進めてまいります。治療薬についても、引き続き、複数の選択肢の中からその適応に応じて、適切かつ早期に投与できる体制を強化してまいります。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについては、昨年12月に成立した感染症法等改正法の審議の過程で検討規定が追加されたことも踏まえ、専門家等の意見も聴きながら、最新のエビデンスに基づき、早期に議論を進めてまいります。

さらに、次の感染症危機へ備えるべく、感染症法等改正法の円滑な施行等に努めてまいります。また、「感染症対策部」の設置や新たな専門家組織の創設、食品衛生基準行政、水道整備・管理行政の移管といった組織の見直しについても引き続き検討を進め、次期通常国会への必要な法律案の提出に向けて取り組んでまいります。

また、先の臨時国会に旅館業法等改正法案を提出しておりますが、旅館・ホテルにおける感染防止対策等にも取り組んでまいります。

全世代型社会保障の構築

国民一人ひとりが将来に希望を持ち、安心して生活できる社会を実現するため、年齢に関わりなく、全ての国民が、その能力に応じて負担し、支え合う「全世代型社会保障」を構築することが必要です。

昨年末に、全世代型社会保障構築会議において、報告書が取りまとめられました。この報告書に基づき、こども・子育て支援の充実、働き方に中立的な社会保障制度等の構築、医療・介護制度の改革、「地域共生社会」の実現について着実に取組を進め、医療保険制度、医療提供体制や介護保険制度の課題については、次期通常国会に関連法案の提出を目指します。また、勤労者皆保険の実現に向けた、被用者保険の更なる適用拡大等についても検討を進めてまいります。

地域医療体制の整備、医療DXの推進等

医療分野では、今般の感染症対応で得られた知見を踏まえつつ、地域医療構想、医療従事者の働き方改革、医師偏在対策を一体的に進めるとともに、今後の医療ニーズや人口動態の変化等を踏まえ、かかりつけ医機能が発揮される制度整備を進めます。

医療DXの推進については、今般の感染症対応の経験も踏まえ、質の高い医療の提供や医療情報の更なる利活用の観点から、電子カルテ情報の標準化等を行うとともに、全国医療情報プラットフォームの創設やそ

の基盤となるオンライン資格確認等システムの導入徹底、診療報酬改定DXに取り組みます。あわせて、本年1月から運用を開始する電子処方箋について着実な推進に努めます。

国民の皆様が健康・医療情報に基づいたより良い医療を受けることが可能となるよう、マイナンバーカードと健康保険証の一体化を加速し、令和6年秋の健康保険証廃止を目指します。

人への投資、多様な就労・社会参加の促進等

雇用・労働分野では、目下の物価上昇に負けない継続的な賃上げを実現することが重要です。

最低賃金については、賃上げしやすい環境整備に取り組みつつ、できる限り早期に、全国加重平均が1千円以上となることを目指します。

さらに、賃上げと、労働移動の円滑化、リスクリングをはじめとした人への投資という三つの課題の一体的改革を進め、賃上げが高いスキルの人材を惹きつけ、生産性を向上させ、さらなる賃上げを生むという好循環による「構造的賃上げ」の実現を目指します。あわせて、正規雇用と非正規雇用の不合理な待遇差を是正するため、同一労働同一賃金の徹底を図るとともに、女性・若者・高齢者・障害者等の就労支援等に取り組みます。

生活困窮者等への支援

コロナ禍や物価上昇等が国民生活に影響を及ぼす中、生活に困窮する方の生活再建に向けて、相談支援体制の充実強化に取り組みます。また、生活保護基準について、審議会での検証結果を適切に反映することを基本としつつ、足下の社会経済情勢等を総合的に勘案して見直しを行います。このように、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等を通じて、生活困窮者等に対する切れ目のない包括的な支援を推進してまいります。

こども・子育て支援

こども・子育て支援については、本年4月から出産育児一時金を42万円から50万円に増額します。また、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と妊娠・出産時の計10万円相当の経済的な支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金」を創設し、継続的に支援を実施します。

また、本年4月にはこども家庭庁が創設され、こども政策に関する総合調整権限を一元化し、こどもや子育て

当事者、現場の視点に立った強い司令塔機能を発揮することが期待されております。関係府省と連携・協力して、設置に向けた準備や今後のこども政策の充実に取り組みます。

あわせて、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の令和6年度からの円滑な施行に向けた準備を進めます。

障害者支援等

障害者や難病患者の方々が、地域や職場において、本人の希望に応じて、医療・福祉・雇用等の各分野の支援を受けながら、その方らしく暮らし、働くことができるよう、昨年12月に成立した障害者総合支援法等改正法に基づき、障害者等の地域生活の支援体制の強化、多様な就労ニーズに対応した取組の推進、難病患者等に対する適切な医療の充実等に取り組みます。

G7関係閣僚会合

本年、我が国はG7の議長国となります。厚生労働分野においても、4月には岡山県倉敷市において労働雇用大臣会合を、5月には長崎県長崎市において保健大臣会合を開催する予定です。開催地の自治体と連携し、国際社会に対し、日本のリーダーシップを示してまいります。

災害への対応等

近年、様々な災害が全国各地で発生しています。改めましてお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。相次ぐ自然災害から国民生活を守ることができるよう、防災・減災、国土強靱化を進めるため、医療・福祉・水道施設の強靱化等に取り組みます。また、東日本大震災からの復興に向け、被災者の心のケア、医療・介護提供体制の整備、雇用対策などに引き続き全力で取り組みます。

そのほか、社会経済の変化に対応しつつ、厚生労働省に対する要請に適時・的確に応えることができるよう、医薬品・医療機器施策、薬物対策、がん対策、循環器病対策、健康増進施策、社会福祉、援護施策等、山積する課題に果敢に取り組んでまいります。

おわりに、本年が、国民の皆様お一人おひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭に当たっての私の挨拶といたします。

年頭所感

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

わが国の医療界が新型コロナウイルス感染症と向き合い始めて、丸3年の月日が経とうとしています。この間、医療従事者は、発熱外来における診療やワクチン接種、あるいは通常医療の分担など多岐にわたり取り組んでまいりました。

こうした医療従事者の献身により、わが国の新型コロナウイルス感染症による死亡率は諸外国と比べ極めて低く抑えられてきました。この事実は世界に誇るべきものであると思います。

昨年は、これまでで最大規模となる「第7波」を経験しましたが、新たな変異株の出現、季節性インフルエンザとの同時期流行が予想されるなど、今後の動向はなお予断を許しません。

そのような中であっても、全国の医療の現場で培われた知見をもってすれば、必ずやこの感染症を克服して穏やかな日常を取り戻し、明るい未来へと繋げていくことができるものと確信いたします。

また、新型コロナウイルス感染症に限らず、わが国の医療提供体制を支え、更に前へ進めていく原動力は、全国津々浦々で日々、患者さんと向き合っている医療従事者一人ひとりの経験に裏打ちされた情報や意見、提言の数々にほかならないと考えています。

日本医師会は、昨年11月に「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～（第1報告）」を公表しました。地域に根差して診療している医師は、自院での診療以外に、平日夜間・休日輪番業務などの「地域の時間外・救急対応」や、学校医・産業医活動などの「地域保健・公衆衛生活動」等を連携しておこない、地域住民の健康を守るため、二次医療圏や市区町村等それぞれの地域を面として支えています。「地域における面としてのかかりつけ医機能」は、医療機関間の連携とネットワークにより更に強く発揮され、そこから得られる膨大な知見は、わが国の医療提供体制を充実・発展させるうえで貴重な財産となります。

日本医師会はこうした活動を引き続き全力で支援して参ります。併せて、国民の皆さんに対しても、地域医療が地域医師会および多くの医療従事者の多大なる尽力により成り立っていることを広く知っていただくよう努めてまいります。

このような「面としてのかかりつけ医機能」を一段と高めるためには、医師会の組織力強化が不可欠となります。その一環として、日本医師会では令和5年度より、現在臨床研修医に適用している会費減免の期間を医学部卒業後5年目まで延長することといたしました。

この取り組みを通じて、より多くの医師に医師会活動に参画し、その重要性を体感いただくとともに、わが国の

医療を支える担い手として、共に歩みを進めていただきたいと考えております。

昨年6月、私は日本医師会会長に就任する際の所信表明において、会務運営の四つの柱として、「地域から中央へ」「国民の信頼を得られる医師会へ」「医師の期待に応える医師会へ」「一致団結する強い医師会へ」をお示しいたしました。いずれも今後の日本医師会の活動における重要な目標となるものですが、それらの大前提として、まず「国民の健康と生命を守ること」を所信の冒頭に申し上げました。

これは医師会として、また一人の医師として、最も基本的な責務であると考えております。医師会のすべての活動は、国民の健康と生命を守るという目標に向けたものでなくてはなりません。医師会の組織力強化の取組みも、自らの利益擁護のためではなく、わが国の医療のあり方を誤りなき方向へ導くための大局的視点に立って進めることが肝要です。

医療は、患者さんやその家族と医療提供者との相互の信頼関係を礎として成り立つものです。国民の健康と生命を守るためには、まず、医療の現場における患者さんとの信頼関係が揺るぎないものでなくてはなりません。

一方、残念なことに昨年も、地域医療に情熱的に取り組まれていた医療従事者の方々が、診療現場において暴力の犠牲となる事件が起きました。医療従事者が安心して医療に打ち込むことができるよう、医療現場の安全確保対策を進めることは喫緊の課題ですが、信頼関係に根差した医療を取り戻すことも、わが国の医療に課された重要なテーマであると考えます。

この他にも、医師の働き方改革に向けた取組みや、次の感染症への対策、次期医療計画と介護保険事業計画等の策定、更には診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の「トリプル改定」に向けた社会保障財源の確保など、医療界を取り巻く重要課題は山積しています。これらの課題の解決に向けては、関係当局をはじめ政府関係者に対して、医療現場の実情や課題を正確にお伝えし、科学的根拠に基づいて自由に議論できる関係性を築き維持していくことが不可欠です。今後も、数々の提案を国の医療政策に反映できるよう精一杯努めてまいります。

医療の現場に生起する課題が複雑・多様化するに従い、日本医師会に期待される役割も多岐にわたってまいりました。対応の迅速さやよりきめ細やかな柔軟さもこれまで以上に重要となっています。今年も一つひとつの課題に対して、日本医師会の総力を挙げ、兎のような素早さと勢いで取り組んでまいり所存です。

新しい年が皆様お一人おひとりにとって充実した幸多き年となりますことを祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

公益社団法人 全日本鍼灸学会
会長 若山 育郎



あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、貴会第17回全国大会に初めて出席させていただきました。いくつかのご講演やシンポジウムも拝聴いたしました。いずれも非常に洗練され、時宜を得た内容でした。

さて、現在、鍼灸は私たちがかつて想像した以上にグローバル化しております。鍼灸の世界的な団体としては、世界鍼灸学会連合会（WFA S）や International Council of Medical Acupuncture and Related Techniques（ICMART）がありますが、設立はWFA Sが1987年、ICMARTが1983年といずれも長い歴史を持ち、WFA Sは世界の70カ国から240を超える学協会、ICMARTは36カ国から60を超える学協会が加盟しています。

また、それに伴って鍼灸に関する国際標準化が急速に進んでいます。「モノ」と用語の標準化は国際標準化機構（ISO）で検討、病名や病証の標準化はWHOにより国際疾病分類第11回改訂版（ICD-11）伝統医学章が昨年1月に発効しました。我が国には鍼灸の団体がいくつもありますが、今こそ、それぞれが横の繋がりをもって情報を共有し世界的な動きに対応していかなばなりません。

日本東洋医学サミット会議（JLOM）は、国際的な課題に対応するため、日本の伝統医学に関する団体が構成メンバーとなって2005年に設立されました。現在のフルメンバーは12団体ですが、半数の6団体が鍼灸系です。今後は、このJLOM鍼灸6団体を中心となって、他の鍼灸関連団体とも連携しながら、国内外の課題に対応していく必要があると考えています。

末筆ながら、貴会の益々のご隆盛と日本鍼灸のさらなる発展を祈念して2023年年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

公益社団法人 東洋療法学校協会
会長 清水 尚道



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

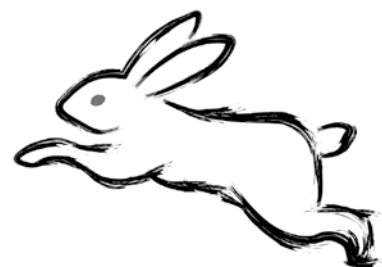
先生方には、平素から臨床実習の指導者として学校外での臨床教育にお力添えいただきましてありがとうございます。ベテランの先生方にご指導いただくことは、学生が将来一人前の臨床家になるための、とても貴重な経験です。いつも大変感謝しております。

さて、学校協会では、現在、電子教材の開発を進めており、まずは既存の教科書の電子化を進めることとなりました。既存の紙版教科書はそのまま、電子版には検索や他の教科書とのリンクなど、電子版ならではの機能を加え、来年度から順次提供してまいります。

また、貴会とともに私共も参画しております「鍼灸電子カルテ標準参照仕様の策定に関する会議」から、先日、全国の多種多様な鍼灸施術録を収集するためのアンケート協力依頼がありました。WHOのICD-11が発効してから1年、今後は、国内の鍼灸臨床データの蓄積について活発な議論がおこなわれていくことと期待しております。養成教育の中においても、この疾病分類を用いたコーディングや鍼灸臨床データ（鍼灸ビッグデータ）の集積に貢献できる鍼灸師を育てていくことが必要と考えております。

これからも、貴会をはじめ業団体・学術団体の皆様方と手を携えて、鍼灸師全体の質の向上と業界の発展に励んでまいりたいと存じます。どうぞご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

末筆となりましたが、貴会員の皆様のさらなるご発展と、貴会のさらなるご隆盛を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



「ヒトを診る—東洋医学の全体観—」

令和4年12月3日・4日、晴れた冬の日に、ウインクあいちを会場に「第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 愛知」が開催されました。新型コロナウイルス感染症第8波拡大も懸念されましたが、オンラインと現地でのハイブリッド方式で開催し、全国から626名（会場参加469名、オンライン参加157名）の多くの参加者が学びと懇親を深めることができました。二日間にわたり「ヒトを診る」という今大会テーマに沿って13の講演やシンポジウム・公開講座が用意され、東洋医学・西洋医学のスペシャリストたちによる多様な角度からの講演がおこなわれました。

開会式では、要大会会頭・長谷川大会会長のあいさつの後、来賓の皆さまから、鍼灸業界への檄と、心温まる祝辞をいただきました。



開会の辞：中村副会長



要大会会頭



長谷川大会会長



閉会の辞：安田副会長



鍼灸マッサージを考える国会議員の会
衛藤晟一会長



愛知県 大村秀章知事



東洋療法学校協会
清水尚道会長



全日本鍼灸学会
若山育郎会長



日本医師会
松本吉郎会長



厚生労働省医政局長
榎本健太郎様代理



東洋療法研修試験財団理事長
奈良信雄様代理



日本あん摩マッサージ指圧師会
安田和正会長
日本視覚障害者団体連合
竹下義樹会長

開会式の後には、大ホール・小ホールに分かれて講演会やシンポジウムが開催されました。大ホールでは「**日々の臨床を評価しよう！臨床研究初めの一步**」と題して福島県立医科大学教授の鈴木雅雄先生にご登壇いただき、日々おこなっている臨床を研究の視点からも取り組む提案や、症例報告やデータ集積の手法などをご教授いただきました。臨床家の小さな研究が、地域住民の健康、われわれの診療行動、政策まで変える可能性があるというお話もありました。



鈴木雅雄先生

その後の講演2では、「**病態水準に基づく患者の心の理解—何が起きているのか、いかに関わるか—**」と題して、藤田医科大学 臨床心理士の藤江理衣子先生にご講演いただきました。臨床心理士がどのように患者さん心理を理解し、判断していくか？その基準のひとつとして「**神経症水準**」「**境界例水準**」「**精神病水準**」を紹介し、関わりかたのヒントなどもお伝えいただきました。



藤江理衣子先生

講演3「**身体観察・鑑別診断**」では、名古屋大学附属病院総

合診療科医師の松久貴晴先生にご講演をいただきました。臓器特異性を持たない総合診療医の視点から、どのような疾患に対しても「**生物**」「**心理**」「**社会**」面から対応することの大切さや、全身スクリーニング診察を行う際の「**適切な型**」についてもご紹介いただき、視診・聴診・触診・打診などを動画も交えながらご紹介いただきました。



松久貴晴先生

講演4「**医療面接の意義と、医学教育における医療面接教育の現状**」では、名古屋大学附属病院総合診療科医師の高橋徳幸先生にご登壇いただき、現在医学教育で行われている医療面接の実際や、われわれも実践可能なヒントが詰まった現場でのコミュニケーション技法などをご紹介いただきました。



高橋徳幸先生

ランチョンセミナー「**折鍼から学ぶ鍼施術の安全性**」では、セイリン株式会社稲葉巧社長より、折鍼のメカニズムについて詳しく解説をしていただきました。

実技「**てい鍼術-TSTとは-**」では、呉竹学園臨床研究センター船水隆広先生より、オリジナル「TSTてい鍼」の紹介や、モデルを用いて「気」「経絡」の調整方法や美容法、精神疾患の治療法など、繊細で多様な実技披露がおこなわれました。随所で東洋医学への深い造詣や、治療に対する美学が感じられる実技披露でした。



船水隆広先生

シンポジウム1「**病鍼連携について**」では、福島県立医科大学教授として研究・教育に携わる鈴木雅雄先生、慶應義塾大学内で鍼灸臨床を実践されている鳥海春樹先生、本会副会長で介護サービス事業所経営もされている中村聡先生から、地域の中で鍼灸師がどのような立ち位置を目指し、行政や医療職・介護職と連携をとり地域医療を実践していくのかをお話いただきました。鍼灸師像の定義から、医師とのコミュニケーション、鍼灸師の教育まで白熱した議論が続き、今後の鍼灸師の在り方に一石を投じたシンポジウムとなりました。



鳥海春樹先生

危機管理委員会主催の講演では、「**施術所における感染対策とリスクマネジメント・リスクマネジメント研修会-アンケート集計結果-**」として、東京有明医療大学 菅原正秋先生より感染症対策の具体的方法と、折鍼や伏鍼のリスクマネジメントについてご紹介いただきました。今年3月のプロ野球選手に対する折鍼事故が大きな問題としてメディアでも取り上げられましたが、事故を受けて開催したリスクマネジメント研修会参加者からのアンケート集計結果を、危機管理委員会 是元副委員長より公表



菅原先生 是元先生

いただきました。続いて行った**シンポジウム2「連携で支える災害鍼灸マッサージ」**では、鍼灸師会、DSAM、NPO、災害ボランティア団体、災害支援窓口の各代表にご登壇いただき、それぞれの立場からの災害に対する取組みをご紹介いただきました。そして鍼灸マッサージの各団体が、平時から連携・協力を進め、一体となって被災地支援活動をおこなう必要性があることを訴えられました。



日比先生 仲嶋先生

シンポジウム3では、総合診療医の第一人者である伴信太郎先生、総合診療医で鍼灸師でもある寺澤佳洋先生、経絡治療の第一人者馬場道敬先生、北辰会代表藤本新風先生にご登壇いた



小野先生 三輪先生

き、東西医学の立場から、「**ヒトを診る**」をテーマに語っていただきました。西洋医学・伝統医学の学問の背景や時代背景などは違っても、「ヒト」を診ることへの想いや技法は共通のものが多く、ヒトがヒトを診るという本質的な原則をあらためて考え直すことができるシンポジウムでした。座長の長谷川先生の「鍼灸は、患者に安心を与え、不安を取り除く」とおっしゃったなか



伴先生、馬場先生、寺澤先生、藤本先生

に、臨床における大きなヒントがあるとも感じました。

講演5第一部では、オンラインで首藤傳明先生より「**鍼灸治療が有効な疾患とその治療法**」のご講演をいただきました。「鍼灸治療が最も効果的なのは内臓疾患と心の病」であり、「経絡治療で五臓を整えると精神が整う」と臨床63年の知見を語っていただきました。第二部「**海外におけるお灸の普及**」では、カナダ在住の水谷潤治先生より、海外のお灸事情や水谷式灸療法の実技をご披露いただきました。



首藤傳明先生

青年委員会ワークショップ「**鍼灸クイズ大会-つながろう、学生の輪-**」



水谷潤治先生

では、全国の学生が5チームに別れてクイズに挑戦をしました。経穴・解剖学・生理学・ご当地問題・東洋医学概論などの出題があり、浮き物通し競争もおこなわれました。参加チームには豪華賞品が用意されました。他校の学生同士が協力して問題に取り組み、大いに盛り上がり、「輪」が繋がるワークショップとなりました。



繋がろう、学生の輪

公開講座「**多職種で人を診る統合ヘルスケア**」では、名古屋大学大学院総合診療医学客員研究員の伊藤京子先生から、予防から健康管理、病の回復まであらゆる段階で多職種による多様な治療法で介入、支援をおこない、患者中心の医療を目指す「統合ヘルスケアチーム」の紹介と提案



伊藤京子先生

をいただきました。患者が抱えるさまざまな健康問題に各種療法の専門家が関わることで解決できることが多くあり、お

互いが補完的に協力し合えるネットワーク構築のお話もいただきました。



近畿ブロック師会長一同



大会実行委員会のメンバー



懇親会的一幕



自前のカメラで配信



会場のウインクあいち

今大会のハイブリッド方式の配信、アーカイブ視聴の編集は専門業者の手を借りず、大会実行委員会の手作りでの運営となりました。児山大会実行委員長の「このメンバーがいたからやってこれた」の言葉のなかに、大会実行委員の多大な努力と絆を感じることができました。次回は令和5年10月21日・22日に大阪府泉佐野市での開催となります。市民参加型の新しい形での全国大会で顔を合わせて学びと懇親を深めましょう。(広報普及IT委員会 瀧本一)



『日本鍼灸新報』メール送信のご案内

社会的なIT化の進行にならぬ、本会においてもペーパーレス化ならびに経費節減のため、2024年1月発行の『日本鍼灸新報』新年号より、マイページにご登録のメールアドレス宛に、誌面郵送ではなくメールにて送信をさせていただきます。

マイページで日本鍼灸新報送付先を「メール送信」とされている方には、移行期間として本号から誌面郵送ではなくメールにてお送りいたします。つきましては、必ずマイページにメールアドレスのご登録をお願いいたします。

なお、引き続き誌面での郵送をご希望の方は、マイページの日本鍼灸新報送付先で「自宅郵送」あるいは「治療院郵送」を選択してください。メールアドレスをお持ちでない方には、誌面郵送にて対応させていただきます。

何卒ご理解のほどよろしくをお願いいたします。

日本鍼灸師会公式Instagram・Facebookのご案内

鍼灸関連の情報をすぐにお届けするために、日本鍼灸師会公式Instagramを行っています。鍼灸に関するお知らせ、鍼灸師の日常に関する身近なことなど、さまざまな内容を発信したいと思います。お気軽にフォローをお願いします。

また、Facebookでも、テレビ番組、研修会、健康サポートや東洋医学に関することなどを情報配信しています。そちらもぜひ、チェックしてみてください。



(公社) 日本鍼灸師会Instagram
https://www.instagram.com/nihon_89.official/



(公社) 日本鍼灸師会Facebook
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100057107634076>

(広報普及IT委員会)

第5回理事会報告

【日 時】2022年(令和4年)11月13日(日)
11:00~16:00

【場 所】としま区民センター

【出席者】18名(理事15名(Web1名)、監事2名、委員1名)

【議 長】要

【議事記録】岡田

【議事録署名】要、仲野、浜田



【議 題】

1. 報告事項

ア. 会務報告

要会長より、各ブロック会議に出席しているが、随分様変わりしたと思う。若い人たちも出てきたし、東海北陸ブロックの岐阜はほとんど女性の理事になっている。これは新しい試みではないか。日鍼会の理事は17名にしたいと思っている。来年改選だが、新しい人たちを取り入れ、信任投票を受け入れた方がよいのではないか。どなたかフレッシュで行動力のある方がいれば、ぜひ推薦いただき協議したいと思う。風間青年委員長から、ハラスメント対策で954名が参加し、修了証を配布したと報告。

イ. 2022年10月31日現在会員数

寺川法人管理担当業務執行理事より10月31日現在で4,259名(準会員合計604名)との報告。

ウ. 東海北陸ブロック会議in静岡 配布資料により確認の依頼。

エ. 全国大会参加申込み者数

児山広報普及IT担当業務執行理事より、本日現在500名との報告。

2. 決議事項

第1号議案 日鍼会eラーニング(以下、「NELS」)

講師依頼の件

堀口研修担当業務執行理事より、講師の承認について主旨説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第2号議案 補助スタッフ推薦書の件

菅野地域ケア推進担当業務執行理事が趣旨を説明し、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第3号議案 補助スタッフ推薦書の件

永島学術担当業務執行理事が趣旨を説明し、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第4号議案 補助スタッフ推薦書の件

風間青年委員長が趣旨を説明し、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第5号議案 休会に伴う会費等減免等申請書の件

寺川法人管理担当業務執行理事より趣旨説明があり、可否を問うたところ、1年更新で2年目は再度申請書の提出をすることで、全会一致で承認された。

第6号議案 代議員選挙管理委員任命の件

寺川法人管理担当業務執行理事より趣旨説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第7号議案 要穴カルタ大会の件

南副会長より趣旨説明と優秀者に贈る盾等に金品が発生するとの報告があった。可否を問うたところ、全会一

致で承認された。

第8号議案 全日本鍼灸学会神戸大会への助成金の件

寺川法人管理担当業務執行理事より受付文書で確認済みと追加説明があった。可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第9号議案 セイリン主催セミナー後援依頼の件

要会長より、セイリンが業界に必要な医療安全に関するセミナーを無料で4回実施するため後援依頼を受けたとの趣旨説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第10号議案 就業規則改定の件

南副会長より社労士から完成版が届いた、新たに介護・育児休業に関する項目と嘱託職員の規程・再雇用・定年後の雇用に関する内容も含まれていると説明があった。可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第11号議案 ハラスメント相談窓口の件

南副会長より、前田事務所とセーフティネットの契約見積書が提出されたため内容を精査した結果、前田事務所と契約したいとの説明があった。可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第12号議案 石田光徳鍼灸師処分の件

南副会長より、懲戒審査会の結果を踏まえ退会勧告相当との結論に達したことの説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第13号議案 会館1Fフリーシングの件

南副会長より申込書類の内容と趣旨説明があり、条件として保証会社・面談・契約の流れで、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第14号議案 全国師会長・ブロック会長会議次第の件

寺川法人管理担当業務執行理事から趣旨説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

第15号議案 全国大会に係る日当および交通費等支給に関する件

中村副会長より趣旨説明があった。大口イベント担当業務執行理事より会員数の減少や会館運営について説明があり、時期尚早ではないかとの意見。審議を重ね、愛知大会と次回大会で費用対効果を検証してみるとし、可否を問うたところ、賛成多数で承認された。反対1名。

第16号議案 労災特別加入に関する出資金の件(250万円)

安田副会長より趣旨説明があり、可否を問うたところ、全会一致で承認された。

3. その他

ア. 令和4年度の経費執行状況について

寺川法人管理担当業務執行理事より認定等委員会に提出した回答について報告がなされた。9月までの状況は把握しているが、10月と11月分についてどのくらいの執行状況が把握していただきたい。12月の監査の段階でおおよそ把握していることが大切なので、細かい活動の内容までは求めない、あくまでも仮ということでもよい。3月ぎりぎりになって達成できなかった、ということにならないようご協力をお願いします。

4. 監事講評

浜田監事:

事前資料でいろいろな活動内容を確認した。そのなかで、いよいよ全国大会も開催されることになるが、頑張っていたきたい。賃貸契約については、有利な立場で契約を結んでいただければと思います。

仲野監事:

お金の話が出ていたが、厳しくなってきた。理事は聞いているだけでなく、自分を主張する時は発言しなければいけない。あなた方が本会の方向を決めるのだからよろしくお願いします。

全国ブロック会議報告

2022年度 中国四国ブロック会議

9月18日(日)

鍼灸の将来ビジョンを業団全体で考える



(公社)全日本鍼灸マッサージ師会中国地区鍼灸マッサージ師協議会共同開催

【会場】岡山シティホテル桑田町別館(岡山県)

【出席者】33名

日鍼会：要会長・安田副会長、高知2名、徳島2名、香川2名、愛媛3名、鳥取2名、島根3名、山口3名、広島3名、岡山12名

当初二日間開催の予定であったが、18日当日に西日本を襲った超大型台風14号の影響により、ほとんどの参加予定者が急遽Web参加になるという事態になった。また実参加された先生方も交通機関確保のため、国澤ブロック長の判断で急遽一日開催に変更した。日鍼会から参加予定であった要会長・安田副会長もWeb参加されることとなった。

■各地区会議(18日13:10~15:00)

中国四国ブロック 師会長会議

中国四国ブロック 青年部長会議

■将来ビジョン会議(18日15:10~17:10)

総合司会 岡山県鍼灸師会松浦副会長

①趣旨説明：岡山県鍼灸師会 内田顧問

②報告：全日本鍼灸マッサージ師会将来ビジョン委員会 石川委員長、岡山県鍼灸師会 内田顧問

③事前アンケート集計報告：岡山県鍼灸師会 山口理事

④質疑応答

の順に会議が進められ、各会・各位より前向きな意見が出た。将来ビジョンでは若い先生方から過去にない新しい意見も出た。

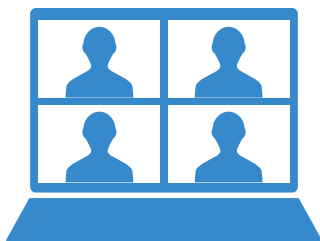
■中国四国ブロック会議

司会 中国四国ブロック 国澤ブロック長

要会長の中央情勢のお話から始まり、各師会が提出した質問にもお答えいただいた。

次回開催予定の徳島県鍼灸師会篠原会長より挨拶があり、閉会となった。

(報告：中国四国ブロック長 国澤光陽、岡山県鍼灸師会 國安俊成)



2022年度 近畿ブロック会議

9月24日(土)・25日(日)

「令和5年度日本鍼灸師会全国大会開催について」をテーマに



【会場】ホテル北野プラザ六甲荘(兵庫県)

【出席者】42名

日鍼会：要会長・南副会長、福井3名、滋賀4名、京都3名、大阪9名、奈良5名、和歌山3名、兵庫13名

■師会長会議(24日16:00~17:45)

令和3年度の事業報告および決算の報告がブロック会長である大阪府鍼灸師会会長より、決算についての監査報告が監事の滋賀県鍼灸師会会長よりおこなわれた。次年度の役員改選がおこなわれ、次期近畿ブロック会長に滋賀県鍼灸師会会長、副会長に兵庫県鍼灸師会会長と福井県鍼灸師会会長が選任された。

また、2023年に近畿ブロックで開催する日本鍼灸師会全国大会 in 近畿ブロックの進捗等の報告が大阪府鍼灸師会会長からあり、その後、次年度のブロック会議開催が大阪府鍼灸師会の担当となること、以降、和歌山・福井・奈良・滋賀・京都の開催順であることの確認がおこなわれた。

■ブロック会議(25日9:00~12:00)

提出議案「①日本鍼灸師会報告事項 ②師会長会議報告事項 ③全国大会実行委員会会議報告事項 ④近畿ブロック会議審議事項(1. 令和5年度日本鍼灸師会全国大会開催について 2. 大規模災害時を見据えた平時からの広域連携 3. 労災と鍼灸 4. その他)」について協議した。

要会長から ①日本鍼灸師会報告事項について口頭にて報告があった。また、大阪府鍼灸師会得本会長から ②師会長会議報告事項について口頭にて報告があった。

荒木近畿大会実行委員長から ③全国大会実行委員会会議報告事項について口頭にて報告があった。1. 令和5年度日本鍼灸師会全国大会開催について事前に配布された資料にて ①大会役員・実行委員紹介 ②全国大会進捗状況報告 ③事業計画案の件(全国大会概要説明)について口頭にて報告 ④プログラム(講座・屋台)の件について師会ごとに案が出され ⑤大会ポスターの件について協議をおこなった。

京都府鍼灸師会森岡会長より 2. 大規模災害時を見据えた平時からの広域連携について資料を基に説明があり協議をした。

和歌山県鍼灸師会中野会長より 3. 労災と鍼灸について周知活動の説明があり協議をした。

大阪府鍼灸師会堀口副会長より 4. その他(近畿ブロックでの災害関係者、危機管理部門のグループラインネットワーク作成)をおこなうと提案があった。

(報告：兵庫県鍼灸師会 圓地綾・渡邊竜一・川本実央)

2022年度 東海北陸ブロック会議

10月9日(日)・10日(月・祝)

コロナ感染症流行3年目にして対面による会議を開催



【会場】1日目 雄踏文化センター、2日目 浜松商工会議所(静岡県浜松市)

【出席者】25名

日鍼会：要会長・中村副会長、富山2名、石川2名、岐阜4名(2日間)、三重3名、愛知4名、(一社)愛知3名、静岡7名

■師会長会議(9日 12:30~13:20)

1号議案：ブロック会議進行について 議長は担当県、議事録はブロック長がおこなう。2号議案：ブロック参加方法について 参加者負担を考えハイブリッド形式とし、会場参

加は各県2名を目途に、ただし上限は設けない。参加費用は今までどおりでおこなう。ただしオンライン参加は無料とする。その他は会長メールで確認。3号議案：役員の変更方法について 来年度の師会長会議後にメールにて役員改選をおこなう。4号議案：オンライン意見交換会の今後について 継続し年2回を目途として、全国大会終了後におこなう。責任者は静岡県鍼灸師会大橋会長、補佐を(一社)愛知県鍼灸師会会長谷川会長とする。

■ブロック会議(9日 13:30~16:30)

最初に師会長会議での決定事項を説明する。師会長間でさまざまな調整をし、資料を事前にメールにて配布し会議当日の配布はせず、会議の時短対策をして臨んだ。

提出議案 1号議案：日本鍼灸師会状況説明。2号議案：「日本鍼灸師会への質問」 回答に対する質疑。3号議案：各県師会事業報告・計画に対する質疑。4号議案：第17回全国大会について。5号議案：その他 労災特別加入について等を協議し会議を終了する。

その後、会場を宿泊施設(グランドエクシブ浜名湖)に移して意見交換会では、有意義な意見を交わすことができた。

■ブロック会議(10日 9:00~12:10)

6号議案：各県師会からの議案上程 事前に各県から挙げられた議案について協議された。会員減少に伴う各県の取組み、コロナ禍での公益比率確保の工夫・ブロック会議の提出資料の再検討、各県の災害協定の状況・療養費が電子申請になった際の運営について、現在の鍼灸師は信頼を得ているか、フレイル予防について市との提携・他業種との連携等、数々の議案について、各県の状況報告や意見が交わされた。これをもって二日間わたる会議を終えた。

(報告：静岡県鍼灸師会 大橋教正・鈴木芳基)

2022年度 全国師会長会議報告

【日時】2022年(令和4年)11月20日(日) 11:00~16:00

【場所】ステーションコンファレンス万世橋(東京都千代田区)

【出席者】62名

日鍼会17名(役員15名、委員2名)
各都道府県師会45名(会場参加30名 ※代理3名含む、Web参加15名 ※代理2名含む)

ブロック長会議終了後、ハイブリッド形式(会場参加とWeb参加)で開催された。寺川法人管理担当業務執行理事司会のもと中村副会長による開会の辞、配布資料と追加資料の確認につづき要会長が議長となり、挨拶ののち議題に入った。



【議長】

(1) 会務報告・事業報告

ア. 活動報告(要会長)

イ. 各委員会活動報告

- ①研修委員会 堀口委員長
- ②学術委員会 永島委員長
- ③健保委員会 小林委員長
- ④地域ケア推進委員会 菅野委員長
- ⑤広報普及IT委員会 児山委員長
- ⑥危機管理委員会 矢津田委員長
- ⑦国際委員会 寺川委員長
- ⑧スポーツ鍼灸委員会 高田委員長
- ⑨イベント推進委員会 大口委員長
- ⑩組織委員会 新名委員長
- ⑪青年委員会 風間委員長
- ⑫法人管理委員会 南副会長

ウ. 会員数

4,259名(2022年11月30日現在)

準会員3年未満248名、教員31名、学生325名

(2) 2022年度ブロック会議報告(要会長)

質問：東海北陸ブロック 石川県 定池師会長「ブロック会議の資料について」

報告：中国四国ブロック 岡山県 國安師会長「組織名の変更について」

(3) 議題関係

ア. 2023年度行事予定(案)について(寺川法人管理担当業務執行理事)

イ. 全国大会について

①第18回大会報告(2023年度)：近畿ブロック 飯塚大会会長

②第19回大会について(2024年度)：福岡県 古賀師会長

ウ. 労災特別加入について(新名組織担当業務執行理事)

質問：宮城県 稲井師会長

エ. 2023年度代議員総会会場について(要会長)

オ. 代議員選挙・役員選挙について(要会長)

(4) 2022年度全国師会長会議質問・意見・要望事項について

埼玉県からの質問について：堀口研修担当業務執行理事からサーバ移行補足説明

(5) その他(要会長)

ア. 学術部長会議の事前アンケート結果について(永島学術担当業務執行理事)

イ. NELS受講の勧奨について(永島学術担当業務執行理事)

ウ. 新学術研修単位管理システム(NGK)の免許保有証活用について(永島学術担当業務執行理事)

埼玉県 河原師会長：免許保有証は学術で活用できるのか(要会長)

北海道 菅野師会長：NGKシステムは免許保有証の期限に関係なく使えるのか(堀口研修担当業務執行理事)

エ. 2021年度免許保有証交付申請件数について(児山

広報普及 | T 担当業務執行理事)

- オ. マイページ登録への協力依頼について (堀口研修担当業務執行理事)
- カ. 日本鍼灸新報のメール配信について (児山広報普及 | T 担当業務執行理事)
- キ. 労災保険による鍼灸施術について (和歌山県 中野師会長)
質問: 岡山県 國安師会長 労災保険での施術で医療と併用できるのか (小林健保担当業務執行理事)
- ク. 賠償責任保険について (新名組織担当業務執行理事)
- ケ. 準会員制度について (新名組織担当業務執行理事)
静岡県大橋師会長: 準会員の入会ホームの本文に、卒業、最終的に帰る場所の欄をお願いしたい
- コ. 電子カルテの標準参照仕様の策定会議について (南副会長)
- サ. 新会館について (南副会長)
- シ. 自民党への要望書について (南副会長)

- ス. スポーツ鍼灸委員会からの報告について (高田スポーツ鍼灸担当業務執行理事)
- セ. 青年委員会からの報告について (風間青年委員長)
- ソ. ハラスメント窓口の設置について (南副会長)
- タ. 全国大会 in 愛知について ((一社)愛知県 長谷川師会長)
 - ①参加者数 536 名
 - ②公開講座のお願い
 - ③テーマ「ヒトを診る」

- (6) その他
 - 要望: 沖縄県鍼灸フェスタの後援依頼 (沖縄県 伊禮師会長 (代理))
 - 案内: Care Show Japan の案内について (児山 広報普及 | T 担当業務執行理事)
 - 要望: メールアドレスの収集について (群馬県 田中師会長)
新報の送付は不要、節減のためにも取りやめを望む (滋賀県 飯塚師会長)
- 閉会の辞 南副会長の閉会の辞をもって散会となった。

第5回DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会報告

令和4年12月18日(日)、神奈川県横浜市の横浜市技能文化会館にて、第5回DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会がおこなわれました。第5回目を迎える本年度は、「災害弱者」「初動と介入」という災害が発生した時の実際の問題に即した内容でプログラムを構成しました。

第一部は「NPO法人かながわ311ネットワーク」の設立メンバーである谷本恵子先生をお招きして「災害弱者への対応と防災への民間の役割」と題して、東日本大震災の調査結果から当時の要援護者の課題を挙げ、被災時における要援護者などの困難な状況や災害後の長期支援、それを支える仕組みづくりについて講演していただきました。



第二部では「今こそ知っておきたい! 災害時の周産期ケア」と題して、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科教授の吉田保奈美先生にご登壇いただきました。吉田先生は東日本大震災後に日本プライマリ・ケア学会の被災地支援派遣医師として石巻地区の妊産婦支援プロジェクトを担当し、被災母子のサポートをされた経験から被災地での周産期ケアについてお話しされました。また、鍼灸マッサージ師のタッチングケア・スキルについて触れ、災害弱者に対する鍼灸マッサージ師によるケアの有用性についても言及され、われわれの意欲を鼓舞するような講演でした。

第三部の災害医療基礎講座はDSAM委員の二人が担当。古田高征委員は災害発生時の医療体制のフェーズについて、是元佑太委員はDSAM内で検討中の「災害支援

活動施術マニュアル」を提示し現場での施術等について説明しました。



講習会の最後は、仲嶋隆史委員長が司会を務め、活動経験が豊富な堀口正剛委員、朝日山一男委員、榎本恭子委員と私というメンバーでのシンポジウム「初動と介入～災害が起きた時我々はどう動くか～」でした。それぞれが実際の活動体験を語り、初動と介入の方法と問題点についてディスカッションをおこないました。また今年8月に発生した新潟県での豪雨災害で初めての支援活動にあたった、同県鍼灸師会の樽井俊郎先生と鍼灸マッサージ師会の椛澤知弘先生にご登壇いただき、実際の支援活動について体験を語っていただきました。

現地参加者は50名を超え、どの講義でも活発な質疑が交わされ、参加者の災害支援に対する意欲が感じられました。久しぶりの現地参加方式だったことも相まってたいへん盛り上がりのあるDSAM講習会となりました。



(報告: 危機管理委員長 矢津田善仁)

鍼灸師養成大学における基礎・臨床研究の紹介

場所を選ばず簡便なうえ、効果も期待できる施術機器として認知されている温灸器。臨床で使用される方も多いことと思います。今回はそのひとつ、【電子灸・N灸】を用いた免疫系の変化に関する実験結果をご紹介します。

(広報普及IT委員会)

電子灸器 (N灸) 開発とN灸による白血球増強効果について

宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科
教授 中村辰三、北小路博司

灸療法は現在、温灸が主流である。患者さんにも直接灸は灸痕が残り、熱いなどの印象が強いため、臨床手法においても縮小傾向にある。直接灸 (有痕灸) による身体への効果の特徴は、白血球の数的増加・遊走速度・貪食能など免疫機能の増加することであり、間接灸 (無痕灸) にない効果である。これらの研究は「鍼灸の科学」(芹沢勝助著) に多く記載されている。

一方、臨床家側からも、艾炷の作成や点火などに時間がかかるため、灸治療が減少していることも否めない。今回、これらを解消するものとして電子灸を開発することにした。電子灸器 (N灸) 開発では電池式で小型化 (図1) し、先端の形状を直径約3mm円形で皮膚に接着し、温度67±5℃加熱7秒 (半米粒大艾 (1mg) 相当) と75℃加熱9秒 (米粒大艾 (1.4mg) 相当) の二種類を作製し、各々米・半米粒大艾 (1mg) の燃焼温度曲線と同じ燃焼温度曲線を再現することが可能になった (図2)。た。そこで、N灸のヒト経穴刺激による白血球数の動態変化について検討した。

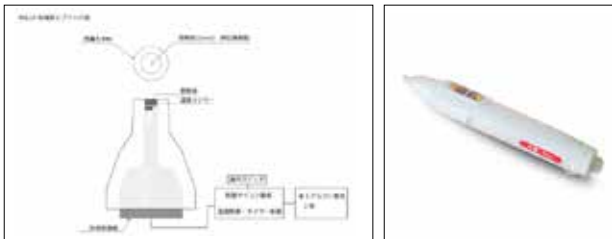


図1. N灸の先端・外観

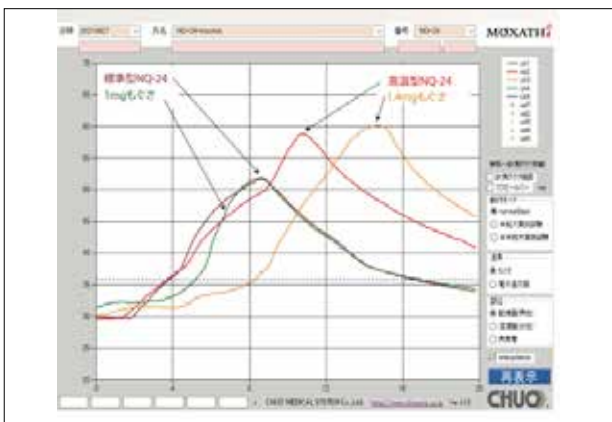


図2. もぐさ燃焼解析システムによるN灸と艾燃焼温度の比較

【実験1】

対象と使用経穴は、手三里 (左右)・足三里 (左右)・合谷 (左右) の計6穴、被験者は6名 (男性5名、女性1名、平均年齢39±8.6歳)。刺激方法は、N灸を用いて半米粒大艾炷と同様の温度67℃ (7秒間中4秒間刺激) に設定し使用穴各部位へ2回刺激した。

評価は、生化学検査により白血球数および好中球数・リンパ球数とした。対象者6名の採血 (午前中) をおこない、血液像項目の血液検査を基に白血球数を刺激前・後と比較した。その結果、N灸刺激前に比べ刺激後に白血球数 (11.1%増) と好中球 (22.5%増) の増加が見られ、リンパ球は減少傾向が観察された (図3、表1)。

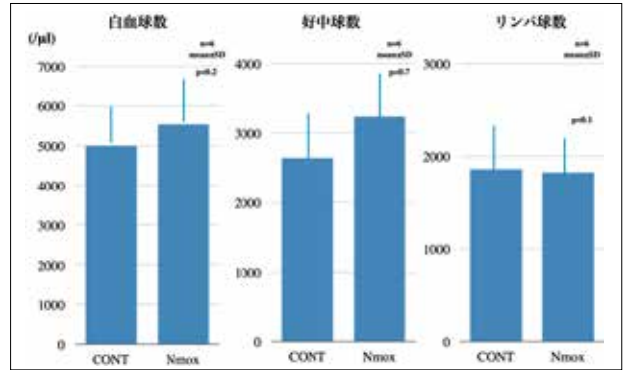


図3. 実験1 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

	刺激前 (±SD)	刺激後 (±SD)	増減率
白血球数平均	4,990 (± 985)	5,540 (± 1,112) p<0.2	11.1% 増
好中球数平均	2,639 (± 738)	3,234 (± 692) p<0.7	22.5% 増
リンパ球数平均	1,861 (± 553)	1,825 (± 478) P<0.1	-0.98% 減

表1. 実験1 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

【実験2】

対象と使用経穴は、大椎・身柱・風門 (左右)・肺俞 (左右) の計6穴、被験者は6名 (男性6名、平均年齢68.5±8歳)。刺激方法は、実験1と同様N灸温度67℃ (7秒間中4秒間刺激)、使用穴各部位へ2回刺激した。

評価は、実験1と同様に対象者6名におこない、刺激前・後と比較した。その結果、N灸刺激前に比べ刺激後に白血球数とリンパ球は減少傾向が見られ、好中球 (27%増) の増加が観察された (図4、表2)。

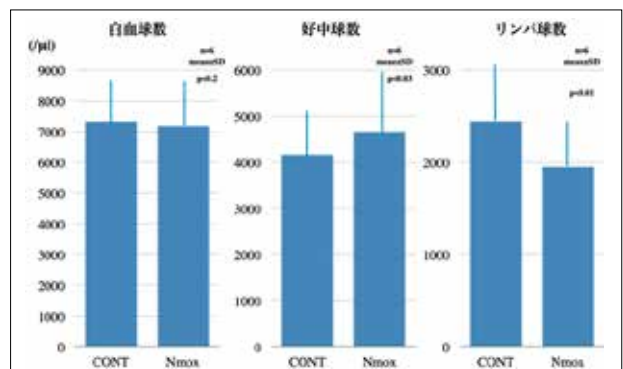


図4. 実験2 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

	刺激前 (±SD)	刺激後 (±SD)	増減率
白血球数平均	7,326 (± 1,363)	7,188 (± 1,501)	-0.98% 減
好中球数平均	4,174 (± 857)	4,668 (± 1,207)	27% 増
リンパ球数平均	2,280 (± 680)	1,951 (± 532)	-0.85% 減

表2. 実験2 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

【実験1・2】

刺激部位は異なるが刺激量の同じ12人を合わせて、対応のある2群のt検定をおこなった。統計処理はSPSS

ver 2.2 (for Mac) によりおこない、有意水準 5% とした。その結果、N灸刺激前・後において白血球数に増加傾向がみられるが、統計学的に有意差はなかった。しかし、好中球は、有意 ($p < 0.05$) な増加 (15.9% 増) が観察された。リンパ球は刺激前に比べ刺激後は有意 ($p < 0.05$) に減少した (図 5、表 3)。

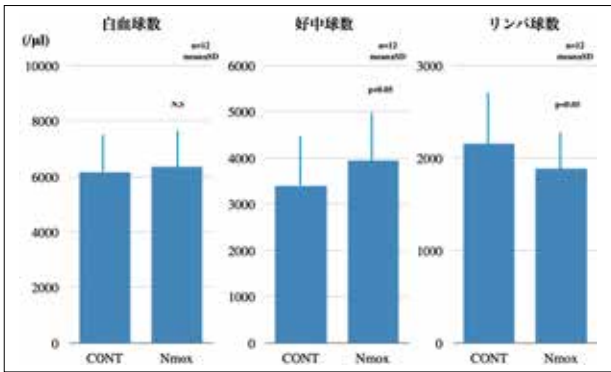


図 5. 実験 1・2 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

	刺激前 (±SD)	刺激後 (±SD)	p値	増加率
白血球数平均	6,158 (± 1,666)	6,364 (± 1,525)	$p < 0.79$	3.4% 増
好中球数平均	3,407 (± 1,106)	3,949 (± 1,199)	$p < 0.05$	15.9% 増
リンパ球数平均	2,154 (± 665)	1,888 (± 487)	$p < 0.05$	14.0% 減

表 3. 実験 1・2 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

【実験 3】

N灸刺激部位は、手三里 (左右)・足三里 (左右)・合谷 (左右)・三陰交 (左右) の計 8 穴、被験者は 6 名 (男性 6 名、平均年齢 57.6 ± 2 歳)。刺激方法：N灸設定温度は米粒大艾炷と同様の温度 75 °C (5 秒間刺激) に設定し、週 2 回、2 週間 (計 4 回) 各刺激部位へ 3 回刺激した。その結果、白血球数 23% 増加し、好中球数は 39% 増加・リンパ球数は 5% 増加した (図 6、表 4)。

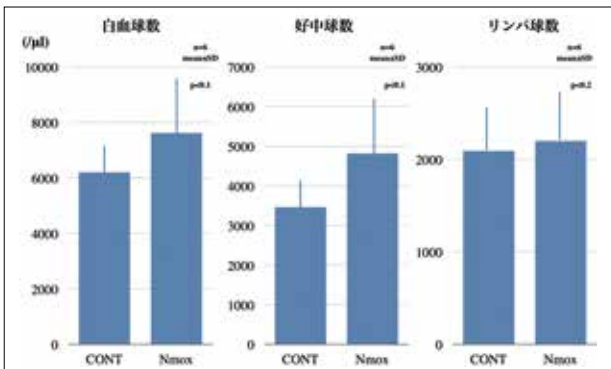


図 6. 実験 3 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

	刺激前 (±SD)	刺激後 (±SD)	p値	増加率
白血球数平均	6,208 (± 1,138)	7,628 (± 2,105)	$p < 0.1$	23% 増
好中球数平均	3,462 (± 764)	4,818 (± 1,571)	$p < 0.1$	39% 増
リンパ球数平均	2,093 (± 461)	2,202 (± 589)	$p < 0.2$	5% 増

表 4. 実験 3 N灸実施前・後の白血球数・好中球・リンパ球の推移

まとめ

日本では直灸が「お灸」であったが、現在は減少している。施灸の普及を妨げる要因は灸痕や熱い、臭いなどのマイナス面があげられる。今回、点火せず、臭いも出ず、清潔で、簡便、安全な電子灸を作製したため、鍼灸師が日常の臨床において容易に使用できる器具となった。このN灸が透熱灸と同様の効果があるのか否かについて、白血球を指標に検証した結果、白血球数増加による免疫力増強効果があり、直灸とほぼ同様の効果が得られた。

渡辺信一郎・原志兎太郎らは、電子灸 (塩野義製薬研究所製) を作製して、ラットを用いた免疫の研究 (「T 細胞依存性抗原を用いた群の抗体価測定で著明な抗体産生細胞数の増加を認めた」) を報告している。

N灸は、一般の人でも使いやすく、施灸が容易であり、白血球数の増加、継続施灸により、特にリンパ球の増加を図り免疫能を高めて健康の維持増進に寄与できるものとなった。より頻用されるようにすることや家庭用として灸の普及を図る器具として期待している。詳しくは本学紀要 8 号をご覧ください。

※紀要 8 号は宝塚医療大学 HP (情報の公開内、刊行物の公開) よりご覧になれます。

<https://sites.google.com/tumh.ac.jp/proc-tumh-vol-8/>

N灸についてご興味を持たれた方は こちらのメールアドレスまでお問い合わせください。

mail@chuoms.co.jp

さらに「免疫力の指標である「NK 活性」を見た

(2021 年 10 月～12 月の実験)

10 月中半より成人男子 7 名、週 2 回 (日)、両側の手・足三里、合谷、三陰交の 8 穴に、N灸 67 °C の施灸を各穴 2 壮 × 前半 9 回、各穴 5 壮 × 後半 8 回、計 17 回おこなった実験では刺激後値とコントロール値を比較した。NK 活性の基準値 (E/T 10:1、E/T 20:1) において対応のある 2 群の t 検定で $P < 0.024$ となり 5% 有意差が得られた。この結果は施灸を継続することによって、免疫力がアップする根拠となる。

この NK 活性の意味は、リンパ球の一種である NK 細胞が標的細胞 (がん細胞やウイルスなどに感染された細胞) を障害する程度を示したもので、施灸 (N灸-直灸) が体を守るのに有効な施術であることを示すものである。(中村先生により現在投稿中)



宝塚医療大学の風景



「地域ケア説明会」開催



- 【日 時】 2022年(令和4年)10月30日(日)
10:00~11:30
- 【会 場】 Web会議
- 【出席者】 57名
日鍼会：副会長(中村)、地域ケア推進委員会(菅野・上條・日野・近)
北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、香川、愛媛、福岡、大分(32師会)
- 【議 題】
1. 挨拶(中村)
 2. 地域包括ケアシステムについて(近)
 3. 鍼灸師の地域包括ケアシステムへのかかわり方(日野)
 4. 鍼灸師の地域包括ケアシステムへのかかわり方 プラスα(上條)
 5. 地域ケア取組み実例(茨城県 大高会長)
 6. 地域ケア推進委員会の取組みについて(菅野)
- 全国で地域ケアへの取組みを推進するため、Zoomミー

ティングを用いて「地域ケア説明会」を開催しました。各都道府県の師会長に地域ケアに関する担当者の選定を要請し、参加していただきました。これまでは、健保委員会との合同部長会議を開催していましたが、地域ケアの担当者を集めた「全国地域ケア担当者会議」のキックオフミーティングです。

まず中村副会長より、地域ケア推進委員会の目指しているところ、開催の意義、鍼灸を取り巻く状況など幅広くご挨拶いただきました。つづいて近副委員長より、地域包括ケアがなぜ必要なのか? どういったものなのか? という基本的な説明がおこなわれました。日野委員からは地域包括ケアにおける鍼灸師の役割を説明し、都道府県師会でおこなうべき取組みについての説明がありました。上條からは、機能訓練指導員や介護予防運動指導員など「鍼灸」以外で取り組めることについてご説明しました。

すでに茨城県では地域ケアに取り組んでいるという情報を得ていたため、大高会長からその取組みについて報告していただきました。真壁医師会と懇談会をもつ予定があり、そこで提案する要望書などを見せていただきました。最後に菅野委員長より、今まで地域ケア推進委員会がおこなってきた活動を説明し、各地域で取り組んでいただきたいと説明しました。

地域ケア活動は各地域で進度がマチマチです。今回は「地域ケアとは何か?」というところから説明させていただきました。鍼灸師がおこなえることの全体像を把握していただき、個人が取り組むこと、都道府県師会が取り組むことをご理解いただけたと思います。今後は各師会が地域ケアへの参入を進められるように、取組み例の情報交換をおこなう機会となるようにしていきたいと考えています。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。今後、鍼灸師の活躍の場が広がられるよう、ともに頑張っていきましょう。

(報告：地域ケア推進委員会 上條弘明)

労災保険の募集について

ひとり親方のあはき師も、労災保険に加入することができるようになりました。

労災保険は、労働者の業務災害・通勤災害の補償をおこなう制度で、格安な費用で手厚い補償が受けられます。治療費用の全額、休業4日目から基礎日額の80%、障害等級に応じた年金や一時金、死亡時にはご家族へ年金や一時金支給等のさまざまな補償が受けられます。日鍼会会員の方には会員特別料金でお申込みいただけるよう検討しております。

ご加入を希望される方は、ご自身で申込み受付サイトからお手続きいただく予定です。募集開始につきましては、日鍼会ホームページ等でご案内しますので、もうしばらくお待ちください。ご興味のある方は、下記メールでお問い合わせください。また、労災保険に関する説明動画をご用意しております。ご希望の都道府県師会にご連絡ください。

E-mail: soshiki.jama@gmail.com

件名:「労災特別加入」の件

(組織委員会)

『ツボセルフケアハンドブック』第三版が完成!



本冊子は、災害支援活動時に被災者の方へ配布する目的で、危機管理委員会が企画・作成したものです。都道府県師会における災害支援活動、研修会やイベントで、一般の方向けの頒布用としてご利用いただくのに最適です。

ご希望の方は、右下のQRコードを読み取りお申込みください。1部50円(税込)です。別途「送料」がかかります。

※都道府県師会からのお申込みは、直接、日鍼会事務局へお願いいたします。



(危機管理委員会)

令和4年第1回地域ケアZoom行脚



【日 時】2022年(令和4年)11月27日(日)

【会 場】Web会議

【出席者】38名

日鍼灸：副会長(中村)、健保委員会(小林・平野・瓜生)、地域ケア推進委員会(菅野・上條・近・日野)

青森、宮城、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、新潟、富山、石川、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、京都、大阪、島根、岡山、山口、福岡(全22師会)

【議 題】

1. 挨拶(中村・菅野)
2. 山梨県における地域ケア・多職種連携について(山梨県 藤森保険部長)
3. 地域連携に対する疑問・困りごとについて意見交換

地域ケア推進委員会の新事業「地域ケアZoom行脚」を開催しました。これは、鍼灸師・鍼灸師会の地域包括ケアシステムへの参入を目的に、各地域で既に取り組んでいる地域ケア連携の事例や地域ケア連携に関する疑問や困りごとなどを、Zoomを用い全国規模で行脚し共有していく新規事業です。

開会挨拶では、中村副会長より鍼灸が地域ケア連携に参入する意義が、また、菅野地域ケア推進委員長より第1回地域ケアZoom行脚への意気込みが述べられました。

第1回目ということもあり、アイスブレイクとして山梨県の藤森保険部長より「山梨県における地域ケア・多職種連携」の取組みについてお話しいただきました。藤森先生個人では、市の介護予防支援事業への講師としての出向や、「地域ケア連絡会」に参加していること、また、山梨県師会では「山梨在宅多職種の会」に参入していることが話され、それらに参入できることとなった経緯などが紹介されました。

山梨県の地域ケア連携に対する質疑応答では、鍼灸が何のために地域ケアに参入していくのかが議題になり、「鍼灸」の多職種への理解・認知向上の必要性や、超高齢化社会のなかで鍼灸による社会貢献をとおして「社会に必要とされる鍼灸師」を根付かせるなど、活発な意見が交わされました。

続く地域ケア連携に関する疑問・困りごとの意見交換会では、事前に参加者よりいただいたアンケートをもとに、参加者の取組事例を交えながら意見交流がおこなわれました。意見交流を進めていくなかで、地域ケア推進委員会の新しい課題がみえてきました。たとえば、地域ケア連携の鍼灸師自身への認知、多職種連携が実現した場合の鍼灸師会側の組織的な対応力など、地域ケア推進委員会だけでなく他委員会の協力も必要不可欠であると考えられます。鍼灸師がさらに地域で活躍できるよう、今後も地域ケアZoom行脚の運営方法などを改善しながら継続していきます。

次回の第2回地域ケアZoom行脚は、令和5年1月27日(金)20時~21時半を予定しています。地域ケアZoom行脚は、地域ケア連携に興味のある方でしたら何度でもご参加いただけます。すでに取り組んでいる地域ケア連携の事例、障害となっていることや困っていること、地域ケアに対する疑問などを、ざっくばらんにお話ししましょう。

最後に、ご多忙のなかご参加いただいた先生方に感謝を申し上げます。

(報告：地域ケア推進委員会 日野智之)

【会員】マイページ機能 新設のお知らせ

研修委員会では、eラーニングコンテンツの有料配信システムの一部を転用し、[会員]マイページ機能を新設しました。

[会員]マイページは、日本鍼灸師会会員のための、個人専用のインターネットサービスです。ご登録をいただくと、会員の皆さまの登録基本情報、研修受講履歴(NGKシステム利用者)、日本鍼灸新報送付先、労災保険・賠償保険の加入状況、鍼灸ネットへの登録状況の確認が可能となり、ご自身で個人情報の変更も可能です。

24時間・365日、いつでも無料でご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

(研修委員会)

令和5年度代議員選挙について

2023年1月10日

各都道府県鍼灸師会長 殿

(公社)日本鍼灸師会
代議員選挙管理委員会
委員長 深澤 栄一

代議員選挙実施の公示について

謹啓 余寒厳しき折、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の運営に関しましては、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、代議員選挙の実施につきましては、各代議員選挙区代議員選挙管理者宛に添付の通り、お願いをしております。

ご承知のように、本年は公益社団法人移行後6回目の改選となります。

また、今回も前回同様「補欠の代議員」を選挙することができます。

つきましては、各都道府県鍼灸師会長様を中心として、代議員選挙の実施にあたり、各都道府県鍼灸師会の理解と協力及び代議員選挙管理責任者への支援をお願い申し上げます。

謹言

2023年1月10日

各選挙区選挙管理責任者 殿
(公社)日本鍼灸師会
代議員選挙管理委員会
委員長 深澤 栄一

代議員選挙実施の公示について

謹啓

余寒厳しき折、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の運営に関しましては、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、代議員選挙の実施につきましては、2023年684号鍼灸新報でお知らせしておりますので、ご確認の程よろしくお願い申し上げます。

ご承知のように、本年は公益社団法人移行後6回目の「改選」となります。同時に代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなる時に備え、定款第7条第7項から第9項に規定に基づき「補欠の代議員」の選挙を併せて行うことも可能です。

つきましては、各選挙区選挙管理責任者として代議員選挙の実施について、遺漏のないようよろしくお願い申し上げます。

なお、各都道府県鍼灸師会長にも、代議員選挙の実施にあたりご理解とご協力及び選挙管理責任者の活動に御支援をお願いしておりますことを申し添えます。

謹言

(同封の書類)

1. 代議員選挙実施の公示
2. 代議員選挙管理委員会委員並びに選挙区及び選挙区数定数一覧
3. 選挙区別選挙管理責任者及び選挙管理者一覧
4. 代議員立候補届・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙1）
5. 代議員推薦書（他薦の場合のみ）・・・・・・・・（別紙2）
6. 補欠代議員立候補届・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙3）
7. 補欠代議員推薦書（他薦の場合のみ）・・・・・・・・（別紙4）
8. 代議員立候補辞退届・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙5）

2023年1月10日

各選挙区選挙管理責任者 殿
公益社団法人日本鍼灸師会
代議員選挙管理委員会

代議員選挙実施の公示

公益社団法人日本鍼灸師会代議員選挙規則第15条第1項の規定に基づき、公益社団法人日本鍼灸師会定款第7条第2項から第11項に規定する代議員の選挙を下記のとおり行うことを公示する。

なお、今回選出された代議員の任期は、2023年5月1日から2025年4月30日までとする。

また、代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなる時に備え、定款第7条第7項から第9項に規定する「補欠の代議員」の選挙を併せて行うことも可能である。

補欠の代議員は各選挙区の定数の範囲内の若干名とし、複数名の場合は優先順位を付すものとする。

記

1. 選挙区 別紙のとおり
2. 選挙区別代議員定数 別紙のとおり
3. 立候補受付期間 2023年2月3日(金)から2月7日(火)17時
4. 立候補届提出先 各選挙区選挙管理責任者
5. 立候補辞退締切日 2023年2月22日(水)
6. 立候補辞退提出先 各選挙区選挙管理責任者
7. 投票方法 各選挙区選挙管理責任者宛郵送方式
単記無記名投票
8. 不在者投票期間 2023年2月28日(火)から3月4日(土)
9. 投開票日 2023年3月5日(日)
10. 当選人公示 2023年3月6日(月)に公示

2023年1月10日

会員各位

公益社団法人日本鍼灸師会
会長 要 信義

代議員選挙管理委員会委員並びに選挙区及び選挙区数定数一覧

代議員選挙の実施に当たり、代議員選挙管理委員会委員を下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

代議員選挙管理委員会構成

委員 深澤 栄一 (山梨県) 委員 三瓶 和樹 (福島県)
委員 新井 孝士 (長野県) 委員 武川 佳代子 (東京都)

2022年度代議員選挙区及び代議員・補欠代議員定数 (2023年1月4日付)

選挙区	都道府県	会員数	代議員定数	補欠代議員定数	選挙区	都道府県	会員数	代議員定数	補欠代議員定数
1	北海道	220	4	4	25	滋 賀	25	1	1
2	青 森	36	1	1	26	京 都	160	3	3
3	岩 手	30	1	1	27	大 阪	329	7	7
4	宮 城	56	1	1	28	兵 庫	164	3	3
5	秋 田	27	1	1	29	奈 良	68	1	1
6	山 形	42	1	1	30	和歌山	55	1	1
7	福 島	71	1	1	31	鳥 取	21	1	1
8	茨 城	55	1	1	32	島 根	20	1	1
9	栃 木	53	1	1	33	岡 山	139	3	3
10	群 馬	85	2	2	34	広 島	77	2	2
11	埼 玉	203	4	4	35	山 口	30	1	1
12	千 葉	152	3	3	36	徳 島	35	1	1
13	東 京	519	10	10	37	香 川	59	1	1
14	神奈川	219	4	4	38	愛 媛	104	2	2
15	新 潟	33	1	1	39	高 知	30	1	1
16	富 山	26	1	1	40	福 岡	80	2	2
17	石 川	42	1	1	41	佐 賀	12	1	1
18	福 井	32	1	1	42	長 崎	114	2	2
19	山 梨	57	1	1	43	熊 本	30	1	1
20	長 野	129	3	3	44	大 分	33	1	1
21	岐 阜	50	1	1	45	宮 崎	9	1	1
22	静 岡	119	2	2	46	鹿 児 島	104	2	2
23	愛 知	169	3	3	47	沖 縄	36	1	1
24	三 重	86	2	2		計	4,245	91	91

(別紙1)

代議員立候補届

2023年3月5日実施の代議員選挙に当たり、公益社団法人日本鍼灸師会代議員選挙規則第29条の規定に則り下記のとおり立候補を届け出ます。

記

1. 立候補者氏名

ふりがな	
氏 名	Ⓜ
生年月日	
住 所	
所属師会及び 現役職名	

2023年 月 日

() 師会選挙区

選挙管理責任者 殿

2022年度 代議員選挙管理委員会

(別紙2)

代議員推薦書(他薦の場合のみ)

2023年3月5日実施の代議員選挙に当たり、下記に挙げる会員を代議員に適任と認め推薦致します。

記

ふりがな	
氏 名	
生年月日	
住 所	
所属師会及び 現役職名	

ふりがな	
氏 名	
生年月日	
住 所	
所属師会及び 現役職名	

2023年 月 日

() 師会

推薦者 Ⓜ

() 師会選挙区

選挙管理責任者 殿

2022年度 代議員選挙管理委員会

(別紙3)

補欠代議員立候補届

2023年3月5日実施の代議員選挙に当たり、公益社団法人日本鍼灸師会の補欠代議員として下記のとおり立候補を届け出ます。

記

1. 立候補者氏名

ふりがな	
氏 名	Ⓜ
生年月日	
住 所	
所属師会及び 現役職名	

2023年 月 日

() 師会選挙区

選挙管理責任者 殿

2022年度 代議員選挙管理委員会

(別紙4)

補欠代議員推薦書(他薦の場合のみ)

2023年3月5日実施の代議員選挙に当たり、下記に挙げる会員を補欠代議員に適任と認め推薦致します。

記

ふりがな	
氏名	
生年月日	
住所	
所属師会及び 現役職名	

ふりがな	
氏名	
生年月日	
住所	
所属師会及び 現役職名	

2023年 月 日

() 師会

推薦者

Ⓜ

() 師会選挙区

選挙管理責任者

殿

2022年度 代議員選挙管理委員会

(別紙5)

代議員立候補辞退届

2023年3月5日実施の代議員選挙に当たり、立候補しましたが、辞退したいので下記のとおり立候補辞退の届出をします。

記

立候補者
氏名

2023年 月 日

() 師会選挙区

選挙管理責任者

殿

2022年度 代議員選挙管理委員会

「鍼灸ネットカード」って何？

「鍼灸ネット」は（公社）日本鍼灸師会会員だけが登録できる鍼灸院検索サイトです。患者様が最寄りの鍼灸院を探すために活用していただくことを目的としています。



ボランティア活動や鍼灸体験イベントなどに参加をすると「〇〇市で安心して通える鍼灸院はどこにあるの?」といった質問を必ず受けます。

そこで「ここからお近くの鍼灸院が探せますよ」と利用者へ手軽に配布してお伝えできるものを、携帯しやすいカードサイズで制作しました。

- ▶ 各種鍼灸関連イベントで配布
- ▶ 都道府県外へ転出される患者様へ
- ▶ 鍼灸啓発活動のツールとして活用
などアイデア次第で利用法が広がります。

未登録の会員の方は、この機会に鍼灸院の登録をお勧めします!

「鍼灸ネット」へのご登録はコチラから



「鍼灸ネットカード」をご希望の際は、メール・FAX・お電話にて日鍼会事務局までご連絡ください。

【日鍼会事務局】

TEL : 03-5944-5089 / FAX : 03-5944-5087

E-mail : info@harikyū.or.jp

(広報普及IT委員会)

日鍼会オリジナル冊子4種の発行

冊子「科学も認める はりのチカラ1・2」、「地域包括ケアシステムと介護予防」、「老年症候群対策」を以下の価格で頒布していますので、地域の医療・介護専門職を含めて多職種の方々に、そして患者の皆さんに鍼灸・鍼灸師の認識を高める手段としてご活用ください。

- 各10部1セット：1,000円（税込）
- 「科学も認める はりのチカラ2」は10部1セット1,200円（税込）から1,000円（税込）に価格変更になりました。
- 送料（実費）：10冊ご注文の場合、レターパック使用で370円。冊数が多い場合は宅急便になり、料金が変わります。

ご希望の場合は、メール・FAX・お電話にて日鍼会事務局までご連絡をお願いいたします。
 （地域ケア推進委員会・広報普及IT委員会）

.....
 [日鍼会事務局] TEL: 03-5944-5089
 FAX: 03-5944-5087
 E-mail: info@harikyu.or.jp



「はり・きゅう保険ガイド」改訂のお知らせ

「はり・きゅう保険ガイド」の同意期間と署名の説明部分を改訂しました。



(外面)

(内面)

販売価格は、50部で1,000円です。※別途、消費税・送料がかかります。
 ご注文は日本鍼灸師会事務局宛に、メールまたはFAXでお願いいたします。

日本鍼灸師会 事務局 E-mail: info@harikyu.or.jp / FAX: 03-5944-5087

(健保委員会)



準会員 大募集中！

鍼灸学校学生、鍼灸免許取得3年以下、鍼灸学校専任教員の皆さまにご入会いただける日鍼会準会員を募集しています。

お知り合いで上記条件に該当するかたがいらっしゃいましたら、ぜひ、日鍼会準会員へご入会をお勧めください。

主な特典

- ・年会費が無料です。
- ・日鍼会の賠償責任保険に加入が可能です（免許取得者のみ）。
- ・日鍼会のeラーニングを無料で受講可能です。

そのほか特典満載！

詳しくは、日鍼会ホームページにて「日本鍼灸師会 準会員」とご検索ください。

※都道府県師会の会員募集活動にも、日鍼会準会員制度をご活用ください。ご不明な点は、日鍼会組織委員会までメールにてご相談ください。また、日鍼会の紹介動画を作成しましたので、ご希望の師会にご連絡ください。

E-mail : soshiki.jama@gmail.com 件名：「準会員」の件

(組織委員会)

(公財) 東洋療法研修試験財団生涯研修会 理事長表彰者報告

各都道府県の生涯研修会が実施され、平成26年度から令和3年度までの実績に対して、(公財) 東洋療法研修試験財団より24名が表彰されました。

次年度はさらに多くの方が表彰されるよう、オンライン研修会もご活用ください。

詳細につきましては、ホームページをご参照ください。

≫イベント情報 → Eラーニング・講習会 (<https://www.harikyu.or.jp/events>)

※生涯研修修了証書を8年間に5回取得した場合には、その都度授与されます。

●1回目表彰者（修了証5回取得）8名

茨城県	榑 知尋	栃木県	株木 慈郎	長野県	岡島 靖典	長野県	工藤 恒
大阪府	中谷 泰夫	兵庫県	山本 基実	日鍼会	岩下 祐士	日鍼会	三瓶 美智

●2回目表彰者（修了証10回取得）8名

福島県	遠藤 賢一	茨城県	坂本 一志	栃木県	縄野 啓行	栃木県	福嶋 成典
岐阜県	高橋 順子	大阪府	中川 欣久	大阪府	松本 政己	香川県	洲崎 節美

●3回目表彰者（修了証15回取得）2名

北海道	森 敏郎	岡山県	松浦 浩市
-----	------	-----	-------

●4回目表彰者（修了証20回取得）2名

宮城県	稲井 一吉	日鍼会	清水 浩人
-----	-------	-----	-------

●5回目表彰者（修了証25回取得）4名

香川県	佐々木 勝	愛媛県	宇都宮 信博	愛媛県	黒川 淳二	愛媛県	日浅 早人
-----	-------	-----	--------	-----	-------	-----	-------

「厚生労働大臣免許保有証」 都道府県交付申請状況 (平成 27 年度～令和 4 年度)

年に一度の「厚生労働大臣免許保有証」交付申請におきまして、各都道府県師会の皆さまにはご協力いただき感謝申し上げます。令和 4 年度も「新規」・「更新」の申請をいただきましたが、年々「更新」申請件数に減少傾向がみられます。有効期限をご確認のうえ、期限切れの際は令和 5 年度申請時にお手続きいただきますようお願いいたします。

なお、免許保有証の交付は、令和 5 年 3 月上旬を予定しております。

No	師会名	累計交付申請件数	No	師会名	累計交付申請件数	No	師会名	累計交付申請件数
1	(公社)北海道鍼灸師会	139	17	(公社)石川県鍼灸師会	68	33	(一社)島根県鍼灸師会	18
2	(一社)青森県鍼灸師会	21	18	(一社)福井県鍼灸師会	54	34	(公社)岡山県鍼灸師会	123
3	(一社)岩手県鍼灸師会	4	19	(公社)山梨県鍼灸師会	41	35	(一社)広島県鍼灸師会	20
4	(公社)宮城県鍼灸師会	42	20	(一社)長野県針灸師会	214	36	(公社)山口県鍼灸師会	45
5	(一社)秋田県鍼灸師会	10	21	(一社)岐阜県鍼灸師会	50	37	(一社)徳島県鍼灸師会	15
6	(一社)山形県鍼灸師会	27	22	(公社)静岡県鍼灸師会	91	38	(一社)香川県鍼灸師会	76
7	(一社)福島県鍼灸師会	148	23	(一社)愛知県鍼灸師会	78	39	(公社)愛媛県鍼灸師会	91
8	(一社)茨城県鍼灸師会	65	24	愛知県鍼灸師会	57	40	(一社)高知県鍼灸師会	10
9	(一社)栃木県鍼灸師会	13	25	(一社)三重県鍼灸師会	125	41	福岡県鍼灸師会	40
10	(公社)群馬県鍼灸師会	29	26	(一社)滋賀県鍼灸師会	35	42	佐賀県鍼灸師会	0
11	(公社)埼玉県鍼灸師会	77	27	(公社)京都府鍼灸師会	89	43	(一社)長崎県鍼灸師会	53
12	(公社)千葉県鍼灸師会	84	28	(公社)大阪府鍼灸師会	190	44	熊本県鍼灸師会	24
13	(公社)東京都鍼灸師会	311	29	(一社)兵庫県鍼灸師会	114	45	大分県鍼灸師会	23
14	(公社)神奈川県鍼灸師会	195	30	(一社)奈良県鍼灸師会	49	46	(一社)宮崎県鍼灸師会	8
15	(公社)新潟県鍼灸師会	36	31	(一社)和歌山県鍼灸師会	20	47	(一社)鹿児島県鍼灸師会	6
16	富山県鍼灸師会	11	32	(一社)鳥取県鍼灸師会	4	48	(一社)沖縄県鍼灸師会	16
							合計	3,059

※平成 27 年度～令和 3 年度交付数累計に、令和 4 年度の申請受付数を足した数です。

会員の異動 (2022年 9 月 16 日～12 月 31 日)

■入会者 20 名 ようこそ日本鍼灸師会へ。ご活躍を期待しております。(敬称略)

都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
秋田	佐々木 朋宏	神奈川	上野 哲郎	広島	國田 将平
山形	小関 祐介	神奈川	小林 優太	広島	濱野 温子
東京	川幡 あづさ	岐阜	加藤 託也	徳島	藤村 美栄子
東京	志村 江里	静岡	神尾 圭祐	愛媛	玉井 亜貴
東京	鈴木 貢	静岡	露木 楓	愛媛	橋本 佳友喜
東京	畠山 麻衣	大阪	大橋 章宏	長崎	浦中 香代子
東京	細見 喜世	奈良	山下 義雄		

■物故者 4 名 謹んでご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

都道府県	氏名	都道府県	氏名
東京	森下 雅子 R4. 9.24(64 歳)	三重	福岡 啓考 R4.12. 7(66 歳)
愛媛	近藤 隆夫 R4.10.12(69 歳)	長崎	酒井 寿明 R4. 9.30(73 歳)

日鍼会 会務報告 (2022年9月16日～12月31日)

9月

- 16日(金) 準会員勧誘プレゼン学校訪問 (国際鍼灸専門学校(鬼木医療学園)、三井住友海上火災保険、ウーベル保険事務所賠償責任保険打合せ(日鍼会会議室)、前田事務所訪問(前田事務所)、第10回地域ケア推進委員会会議(Web会議)、正副会長会議(Web会議))
- 18日(日) 中国・四国ブロック会議(Web会議)
- 21日(水) 灸規格WG第4回TF2会議(Web会議)、第3回健保委員会(Web会議)
- 24日(土)～25日(日) 近畿ブロック会議(ホテル北野プラザ六甲荘)
- 25日(日) 第7回電子カルテ標準参照仕様策定に関する会議(Web会議)
- 26日(月) 危機管理委員会会議および災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会(DSAM)会議(Web会議)、「鍼灸電子カルテ参照仕様の策定に関する会議」第5回作業部会(Web会議)
- 27日(火) 安倍晋三元総理国葬(日本武道館)、富日龍貿易有限公司の水野氏との打合せ(Web会議)
- 28日(水) 第289回実務者協議(厚労省中庭会議室)、第2回労災特別加入に関する3団体長会議(Web会議)、機能訓練指導員協会運営会議(Web会議)
- 29日(木) 全国学術部長会議の事前打合せ会議(Web会議)
- 30日(金) JLOM総会(Web会議)、地域ケア推進委員会会議(Web会議)

10月

- 4日(火) 第3回青年委員会(Web会議)
- 5日(水) 臨時第290回実務者協議(Web会議)、未病戦略を考えるWGプレ会議(Web会議)
- 6日(木) ICD-11告示の件(議員会館)、灸規格WG第5回TF2会議(Web会議)、サーバー移行打合せ会議その6(Web会議)
- 7日(金) NHK朝ドラ「らんまん」監修の件(NHK渋谷スタジオ)、全国大会実行委員会第3回Web関連会議(Web会議)
- 9日(日)～10日(月) 東海北陸ブロック会議(グランドエクシブ浜名湖)
- 10日(月) 愛媛県鍼灸師会40周年記念式典および祝賀会(道後にぎつたつ会館)、NHK朝ドラ「らんまん」監修の件(NHK渋谷スタジオ)
- 11日(火) 全国大会実行委員会第4回Web関連会議(ウイנקあいち)
- 12日(水) 日本あはき師厚生会口座開設(大塚駅前三菱UFJ銀行)、高杉浩司医師との意見交換(三九朗病院(豊田市))、バックテック社との打合せ(Web会議)、第4回業務執行委員会(Web会議)
- 13日(木) 4団体実務者会議(Web会議)、灸規格WG灸規格啓発パンフレット改定作業の打合せ(Web会議)
- 14日(金) 機能訓練指導員協会運営会議(Web会議)
- 15日(土) 鈴木雅雄教授就任記念学術集会・記念祝賀会(ザ・クレストン福島)、セイリン社員・学会役員を含めた意見交換会(かくれんぼ)
- 16日(日) 東京2020大会1周年記念セレモニー(国立競技場)
- 17日(月) 第12回地域ケア推進委員会会議(Web会議)、「鍼灸電子カルテ参照仕様の策定に関する会議」第6回作業部会(Web会議)
- 18日(火) 第6回組織委員会(Web会議)
- 19日(水) 機能訓練指導員協会運営会議(Web会議)、懲戒に関する第2回審査会(Web会議)
- 24日(月) 第4回あはき等法推進協議会(Web会議)、未病戦略を考えるWG(1)(Web会議)
- 25日(火) 第13回地域ケア推進委員会会議(Web会議)
- 26日(水) 朝日医療専門学校広島校訪問(朝日医療専門学校)、第290回実務者協議(厚労省中庭会議室)、機能訓練指導員協会運営会議(Web会議)、JLOM臨時国内対策会議(Web会議)
- 29日(土) 機能訓練指導員協会運営会議(Web会議)、学術部長会議の打合せ①(Web会議)
- 30日(日) 地域ケア説明会(Web会議)、全国学術部長会議打合せ②(Web会議)、全国学術部長会議(Web会議)

11月

- 1日(火) 実務者準備会議(日本視覚障害者団体連合)
 - 2日(水) 正副会長会議(日鍼会会議室)
 - 5日(土) 機能訓練指導員協会運営会議現地最終打合せ・情報交換会(東京都柔整師会)
 - 6日(日) 機能訓練指導員協会シンポジウム テーマ「住み慣れた地域で暮らすフレイル予防」(東京都柔整師会)
 - 7日(月) 第5回「臨時」あはき等法推進協議会(Web会議)、未病戦略を考えるWG(2)(Web会議)
 - 11日(金) 懲戒に関する第3回審査会(Web会議)
 - 12日(土) 第3回法人管理委員会(Web会議)
 - 13日(日) 第5回理事会(としま区民センター)
 - 14日(月) 4団体長会議(Web会議)
 - 15日(火) 第2回生涯研修検討委員会(公財・東洋療法研修試験財団)、会計処理に関する事務員への説明(日鍼会会議室)、全国師会長会議におけるLIVE配信の音声テスト(ステーションコンファレンス万世橋)
 - 16日(水) 第14回地域ケア推進委員会会議(Web会議)
 - 17日(木) スポーツ鍼灸委員会会議(Web会議)、サーバー移行打合せ会議その7(Web会議)
 - 18日(金) 厚生労働省医療課訪問(厚労省会議室)
 - 20日(日) 全国ブロック会長会議と全国師会長会議(ステーションコンファレンス万世橋・ハイブリッド開催)
 - 21日(月) 「鍼灸電子カルテ参照仕様の策定に関する会議」第7回作業部会(Web会議)、第5回青年委員会(Web会議)
 - 22日(火) 第15回地域ケア推進委員会会議(Web会議)
 - 23日(水) 要穴カルタ大会視察(森ノ宮医療専門学校アネックス校舎)
 - 24日(木) 研修ICT化に関する会議(Web会議)、第291回実務者協議(厚労省)
 - 27日(日) 第1回地域ケアZoom行脚(Web会議)
 - 28日(月) ISO/TC249 第32回国内対策委員会(第8回灸規格WG会議)(Web会議)、愛知大会危機管理委員会講座リスクマネジメント事前打合せ(Web会議)
 - 29日(火) 東京海上日動火災保険 賠償責任保険 保険料等不明金調査の立合い(日鍼会会議室)、セイリン打合せ(日鍼会会議室)、テナント交流会(日鍼会会議室)
- ## 12月
- 2日(金) 第6回労災特別加入に関する3団体実務者協議会(Web会議)、労災特別加入受付用HP運用レクチャー(Web会議)、地域ケア推進委員会全国大会座長打ち合わせ(長谷川鍼灸院)、地域ケア推進委員会基準緩和型通所介護 現場視察・情報交換会(三谷接骨院・朧月夜)、臨時組織委員会(Web会議)
 - 3日(土)～4日(日) 第17回日鍼会全国大会in愛知(ウイנקあいち・ハイブリッド開催)
 - 4日(日) 健保委員会会議(名古屋MIDLANDS SQUARE 4F今井屋)
 - 5日(月) 「鍼灸電子カルテ参照仕様の策定に関する会議」第8回作業部会(Web会議)
 - 6日(火) 学校法人履正社創立100周年記念祝賀会(ホテルリーガロイヤルホテル大阪)、第2回国際委員会会議(Web会議)
 - 7日(水) JIMTEF災害医療委員会(Web会議)
 - 9日(金) 第4回臨時あはき等法推進協議会(Web会議)
 - 10日(土) 粕谷教授との話し合いにおける内容の最終確認(魚沼金蔵)
 - 11日(日) 地域ケア推進委員会 病院での鍼灸師の雇用についての調査(新潟市総合福祉会館)
 - 14日(水) 第5回業務執行委員会(Web会議)
 - 15日(木) サーバー移行打ち合わせ会議その8(Web会議)
 - 17日(土) 機能訓練指導員研修アドバンスコースファシリテーター研修(東京都柔道整復師会館)、機能訓練指導員研修ベーシックコース(東京都柔道整復師会館)、危機管理委員会・災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会(DSAM)会議および災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会(横浜市技能文化会館)
 - 18日(日) DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会(横浜市技能文化会館)、機能訓練指導員研修ベーシックコース(東京都柔道整復師会館)、日本理療科教員連盟創立70周年記念式典・祝賀会(アルカディア市ヶ谷私学会館)
 - 21日(水) 未病戦略を考えるWG(3)(Web会議)
 - 23日(金) CARE SHOW JAPAN 2023未病産業展の担当者と打合せ(日鍼会会議室)、第16回地域ケア推進委員会会議(Web会議)
 - 26日(月) 第292回実務者協議(厚生労働省)

2023年度行事予定

※予定のため変更になる場合もあります。

年月日(曜日)	代議員総会	理事会	全国師会長会議
5月14日(日)		○	
6月18日(日)	○	○	
6月19日(月)		○	
8月27日(日)		○	
11月12日(日)		○	
11月26日(日)			○
2024年 1月28日(日)		○	
3月24日(日)		○	

※2023年6月18日(日)の代議員総会・日本鍼灸師連盟総会は「ステーションコンファレンス万世橋」(東京都千代田区)で開催を予定しています。

■全国ブロック会議予定

ブロック名	開催予定日	開催地
北海道	9月3日(日)	北海道
東北	6月24日(土)・25日(日)	秋田県
関東信越	7月16日(日)	神奈川県
東海北陸	10月8日(日)・9日(月・祝)	富山県
近畿	10月14日(土)・15日(日)	大阪府
中国四国	9月17日(日)・18日(月・祝)	徳島県
九州	9月9日(土)・10日(日)	長崎県

■関連行事

会議等名称	開催予定日	開催予定地
第18回日本鍼灸師会全国大会 in 近畿	10月21日(土)・22日(日)	スターゲイトホテル関西エアポート

※第72回全日本鍼灸学会学術大会：2023年6月9日(金)・10日(土)・11日(日)(神戸国際会議場/兵庫県神戸市)

編集後記

「第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 愛知」では、ご参加ならびにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。大会中には、さまざまな対応に追われ会場内を動き回っておりましたが、なんとか無事おこなえることができましたことに安堵しております。

初の愛知県開催であり、何もわからないところからスタートして、準備の約2年間はたいへんで、次々にやらないといけないことに追われていましたが、大会の2日間は意外にも楽しく仕事できました。なぜ意外かという、事前準備期間は、大会が無事にできるかどうか不安な気持ちをおさめていることが多かったのですが、大会中は大会実行委員会のメンバーとともに一体感をもって取り組むこと自体に、「楽しさ」を感じて仕事ができるとは事前には想像ができませんでした。また、今年も「楽しさ」を感じる瞬間に出会えるように、仕事に取り組みたいと思っております。(児山俊浩)

あけましておめでとうございます。新年号は毎年、皆さま方のご挨拶で始まりますが、僥越ながら私からも2023年を迎えてひと言。声高に「今年の目標!」というほどではないのですが、昨年の中盤あたりから意識していることがあります。「会える人には会っておく」。今日会えるなら今日のうちに、できる限り早めに会っておこう、を頭の片隅に置いてあります。この歳になると自分の身体もそうなのですが、お相手の健康状況や都合でいつ会えなくなり、「またね!」が確約できなくなるのではないかと感じているのです。そして「一期一会」を大切にしています。

新明解四字熟語辞典によると「一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意」。ん?そこまでは重くとらえてないので心がけぐらいにしておきましょう。とにかく、画面越しではなく、生でお会いして顔を見て、お話をしておこうと思う次第です。(佐合基樹)

発行所：公益社団法人日本鍼灸師会 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-44-14 2階



TEL：03-5944-5089 FAX：03-5944-5087 E-mail：info@harikyu.or.jp

編集担当者：児山俊浩・廣橋久美子・佐合基樹・端場真美弥

制作・印刷：株式会社キューアイ・マネージ



無断掲載を禁ず

賠償責任保険のご案内

日本鍼灸師会では、三井住友海上火災保険（株）と東京海上日動火災保険（株）、2社の賠償責任保険を取り扱っています。都道府県師会ごとに、どちらかの保険会社となります。保険会社の変更を希望される師会は、下記までご連絡ください。

E-mail : soshiki.jama@gmail.com

件名：「賠償責任保険」の件

(組織委員会)

日鍼会保障プランのご案内

ご加入されている方のみが利用できるヘルスケアサポートが好評です！
未加入の方は是非、日鍼会保障プランへご加入のご検討をお願いいたします。
詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

E-mail : soshiki.jama@gmail.com

件名：「日鍼会保障プラン」

(組織委員会)

謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も変わらぬご愛顧を
よろしくお願ひ申し上げます



伊吹もぐさ製造本舗
YAMASHO 株式会社 山正
https://moxa.net E-mail: info@moxa.net



煙・ニオイのでない

専用炭化もぐさ

- Point ① 原料はもぐさ 100%
- Point ② すぐ火がつく！
- Point ③ ちょうどよい温度と時間

約20
分間

● 100%もぐさのみを原料に使用しているので、もぐさそのままの火付きの良さ。燃焼中も煙がでないので場所を選ばずご使用頂けます。



本 社 〒526-0244 滋賀県長浜市内保町 238 番地 2
TEL 0749-74-0330 (代) FAX 0749-74-0466
東京営業所 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-20-1 吉祥寺永谷シティプラザ917号室
TEL 0422-23-7881 FAX 0422-23-7882





human resources ~人財宝~



- 医療系国家資格
- スポーツトレーナー
- 中・高等学校教員免許〈保健体育〉



宝塚医療大学

TAKARAZUKA UNIVERSITY of MEDICAL and HEALTH CARE


保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科 口腔保健学科

阪急「川西能勢口」駅よりスクールバスで約10分
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1



医療関係の資料用マナーに
ご協力ください。

 0120-00-1239

宝塚医療大学 

www.tumh.ac.jp/

公益社団法人
日本鍼灸師会の
みなさま向け



ファイナンシャルプランナー

特別無料FP相談

ご家族の方もお申しいただけます

FP社員数 1,705人*

※2020年11月現在

経験豊富なFPに無料で相談出来ます!



必要なのはいつでも話せる「お金の相談相手」。
マネードクターは保険とともに、あなたのお金の健康を守ります。

いざというときのお金の相談って、誰にすればいいのだろうって思うことありませんか？マネードクターはあなたのライフプランにぴったりの保険の提案はもちろんのこと、貯蓄の仕方・資産形成の方法など、頼れる相談相手としていつでもアドバイスいたします。

大切なお金のこと、いつでもお気軽にご相談ください。

マネードクターは、保険・年金・税金など人生において大切なお金のことを「お金のプロ」ファイナンシャルプランナー（FP）にご相談いただけるサービスです。

オンライン
相談受付中

ご自宅に居ながら
ご相談いただけます。

——（ファイナンシャルプランナー（FP）には、こんな相談が出来ます！）——

家計管理

- ・日々の家計管理
- ・貯蓄方法

教育

- ・教育費の準備方法

保険

- ・保険の仕組み
- ・必要保障

住宅ローン

- ・住宅ローンの借り方
- ・繰上げ返済/借り換え

税金

- ・ふるさと納税
- ・配偶者控除

年金・社会保険

- ・公的年金制度の仕組み

老後資金

- ・老後の生活設計
- ・必要資金の準備方法

相続・贈与

- ・遺言や相続に関する準備方法

資産運用・形成

- ・投資信託の仕組み
- ・退職金の運用方法

マネードクターは全国 47 都道府県対応！
オンライン面談で、お好きな場所や
ご自宅からの相談が可能です。

相談は、お客様のご都合に合わせた日時で、ご自宅からオンライン面談をマネードクターのFPがお伺いします。弊社のFP在籍数は1,000人以上と業界トップクラス。経験豊富なFPがご対応させていただきますので、安心してご相談ください。強引な勧誘などもございません。



オンライン

お好きな時間・場所で
オンライン無料相談

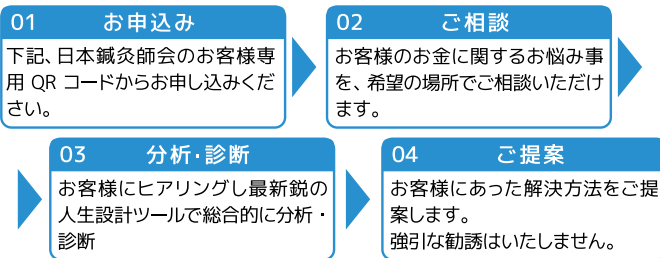
VOICE

プロだからこそそのアドバイスが心強い。

資産形成に興味はあったものの、自分で調べて得た知識が本当にあっているか不安に思っていたところ、無料で経験豊富なFPに相談できるマネードクターを知りました。ヒアリングの後、ライフプラン表を作成してもらい、具体的に老後の資金見込を知ることができました。また、保険見直しに絡めて、資産運用を始めるプランを提案してもらい、現在の保険料を減らしながら、将来の資産形成に備えるという自分では想像しなかった方法を教えてもらえました。お金のことを何でも聞けるプロがいるのは心強いです。

ご相談体験者 T様

FP相談の流れ



かんたん申込み！

公益社団法人日本鍼灸師会の
みなさま専用

ライフプラン相談
お申込みQRコード



※ご相談はマネードクター(運営会社：株式会社FPパートナー)のFPが対応します。

お問合せは
こちら！

株式会社FPパートナー 横浜支社

〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島 2-6-32 横浜東口ウィスポーツビル 19F
TEL：045-228-8904

22032029T0030A

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

旧年中に賜りました格別のお引き立てに深謝し
皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます

令和五年 元旦



ディスポ鍼
I'SSHIN

株式会社 いっしん
〒651-0066 神戸市中央区国香通1-2-2 ソシア2F
TEL.078-251-8111
<http://isshin.asia/>



バツグンの国家試験&就職実績の学校です！

鍼灸師学科

柔道整復師学科

救急救命士学科

歯科技工士学科



厚生労働大臣指定校

東洋医療専門学校

全設置学科 文部科学大臣認定 職業実践専門課程

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原 1-5-35

TEL : 06-6398-2255

FAX : 06-6398-2255

今度は、後押しする人に。

Nudge(ナッジ)とは「そっと後押しする」こと。悩悩をしたとき、助けそうな気持ちをそっと後押ししてくれた治療院の先生みたいに、「今度は、私が後押しする人になりたい!」——中和には、そんな先輩が大勢学んでいます。

Good
Nudge!

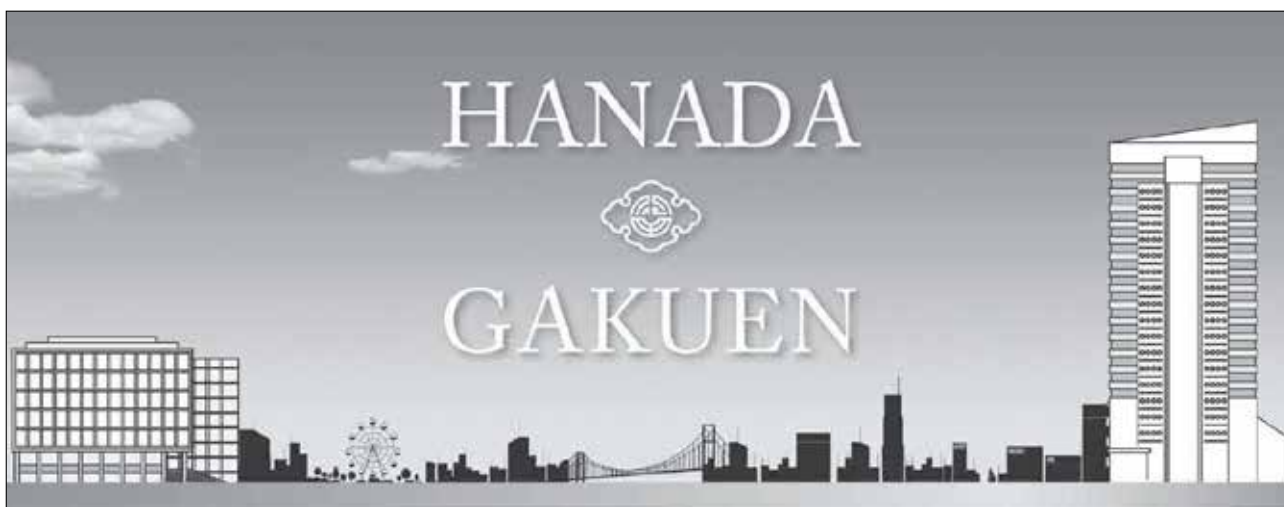


Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 萼谷学園
中和医療専門学校
Chuwa Professional Training College of Medical Care
(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程
あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)
はり、きゅう科(専科)
柔道整復科I部(昼間部) 柔道整復科II部(夜間部)

T.492-8251 愛知県稲沢市車線町1-1-81
TEL 0587-23-5235
FAX 0587-23-5237
www.chuwa.ac.jp
Webサイトはこちら



東京有明医療大学

鍼灸学科 柔道整復学科 看護学科
大学院(博士課程・修士課程)

東京都江東区有明2-9-1 電話 03-6703-7000

日本鍼灸理療専門学校
日本柔道整復専門学校

本科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)・専科(鍼灸科)
柔道整復科

東京都渋谷区桜丘町20-1 電話 03-3461-4787・4740

<https://www.hanada.ac.jp>

若手支援

はり師・きゅう師・柔道整復師

令和5年度 国家試験合格者全員に

※合格証明書のコピーをご提出いただけます。

【お申込について】

応募フォーム等は2023年3月31日に弊社HPにて公開いたします。

記載しておりますQRコード又は弊社HPの若手支援ページよりお申し込みください。



ファロスからのお祝い
3万円分の
クーポン券
プレゼント!!

・弊社ホームページ内ネットショップでのご購入にご利用いただけます。
・お一人で複数合格された方も一律金額となります。



お問い合わせ先



株式会社 **ファロス**

〒590-0051 大阪府堺市堺区幸通1番15号

TEL 072-282-5537

FAX 072-282-5597

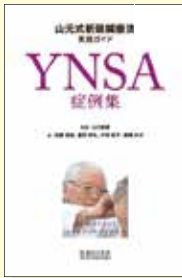
www.pharos-jp.com

ファロス 鍼灸 株式会社ファロス



医道の日本社
ESTABLISHED 1938

書籍のご案内



山元式新頭鍼療法実践ガイド YNSA症例集

監修：山元敏勝 著者：加藤直哉、富田祥史、丹羽祐子、高橋沙世
A5判／264ページ／5,280円(税込) ISBN：978-4-7529-1180-7

YNSA(山元式新頭鍼療法)では、首や肘にある独自の“診断点”を用いて圧痛や硬結といった反応を探り、その診断点に対応した“治療点”への刺鍼によって症状を改善させることを基本的な治療の流れとする。本書はYNSAの初学者にも実践で活用できるよう構成されているだけでなく、診察、治療の進め方のヒントにもなる貴重な症例集である。



陰陽太極鍼テキスト

刺さない鍼で効果を出す 配穴と施術法

著者：吉川正子 B5判／200ページ／6,380円(税込) ISBN：978-4-7529-1386-3

陰陽太極鍼の治療法は、東洋医学の原点ともいえる身体の陰陽バランスを重視しながら、皮内鍼や王不留行の種子を「貼る」だけ。施術する側にとっては「習得しやすい」、施術を受ける側にとっては「安心して治療を受けられる」と双方にメリットがある。症例も豊富に紹介しており、陰陽太極鍼の理論から技術までを幅広く学べる1冊となっている。



医道の日本社
ESTABLISHED 1938

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-105 <https://www.idononippon.com/>
フリーダイヤル 0120-2161-02 TEL 046-865-2161 FAX 046-865-2707



筋活性化研究会

Muscle activation study group

筋活性化研究会は、各専門分野の研究者や臨床家が、骨格筋についての正確な知識と治療法などを探求・共有しともに成長することを目的としたオンラインコミュニティです。

これからの時代を生き残る為の手法

根拠に基づいた、正しい治療法が全てを解決します。
新しい学びに触れたい方はぜひ！



筋活性化研究会
会長 中辻 正



<https://renewing-online.com>

鍼電極低周波治療器

KANAKEN

Lasper-A・MC

ラスパーA・MC エース エムシー

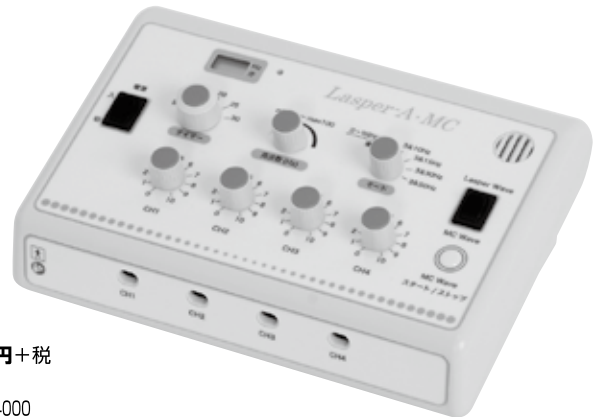
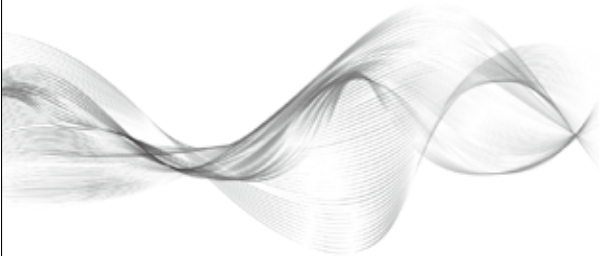
鍼電極低周波治療器

+

マイクロカレント

マイクロカレントは実績のデュアルクロス通電方式

この1台で鍼治療は「新たな時代」を迎える



ラスパーA・MC
KE-600 69,000円+税
〔クラスⅡ/特管〕
認証番号 230ALBZX00034000

総発売元 株式会社 **カナケン**
本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262
オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所：TEL_06-6935-3016代 FAX_06-6935-3017
新潟営業所：TEL_025-286-0521代 FAX_025-286-8870
福島営業所：TEL_024-961-7211代 FAX_024-961-7221
仙台出張所：TEL_022-287-6273代 FAX_022-287-6218



Tehamo

てはも

「Tehamo」は、「て」「はり」「もぐさ」を意味します。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の皆さまに向けて情報を発信していくこと、そして医療者の皆さまや患者さんたちとつながるツールを目指しています。



創刊号 関節リウマチの治療とQOL/慢性の痛み対策基本法案とは
2号 「痛み」へのアプローチ/国際標準キャッチアップ
3号 睡眠障害を治療する/あはきと視覚障がい
4号 带状疱疹・带状疱疹後神経痛の治療とQOL/あはき業界マップ
5号 Long COVIDのケア&キュア/WEBから見たあはき-2022年秋

定価 2,310円(税込・送料別) 定期購読 年3冊 5,979円(税・送料込)
(2021年6月より「鍼灸OSAKA」と「あはき」との内容を踏襲し新雑誌「Tehamo」にリニューアルしました)

ご注文・お問い合わせは出版部まで

TEL 06-6976-6889 FAX 06-6973-3133
koudoku@morinomiya.ac.jp

〒537-0022 大阪市東成区中本4-1-8
<https://book.morinomiya.ac.jp>

鍼灸 OSAKA 鍼灸臨床専門誌

- No.111 お灸の再生
- No.112 鍼灸院に求める「スタンダード」とは
- No.113 原因不明の腰痛を治す
- No.114 腹筋、それとも鍼あたり？
- No.115 今こそ「補腎」！
- No.116 往診・往療・出張施術
- No.117 刺絡2-次世代へ向けてー
- No.118 社会鍼灸学と鍼灸社会学
- No.119 新たな国民病、慢性腎臓病への鍼灸治療
- No.120 WFASがやってくる
- No.121 触診力をつける
- No.122 プライマリ・ケアと鍼灸
- No.123 産前産後の鍼灸治療【PDF版】
- No.124 鍼灸とボランティア・NPO

- No.125 依存症への鍼灸治療
- No.126 伝統医療振興基本法(仮称)を考える
- No.127 パーキンソン病とQOL
- No.128 鍼灸研究の最前線
- No.129 「五十肩」と「いわゆる五十肩」
- No.130 私の得意穴
- No.131 終末期・高齢者をもつめる緩和ケア
- No.132 難治性腸疾患へのケア
- No.133 女性の健康寿命をアップする
- No.134 点灸と道具を使ったお灸
- No.135 未来へ向けて、小児鍼治療
- No.136 耳鼻咽喉科疾患を治療する【PDF版】
- No.137 膝の痛みと手の痛み
- No.138 冷えと冷え症-鑑別と治療-【PDF版】
- No.139 眼科疾患への治療
ー鍼灸・漢方・マッサージ【PDF版】

定価：133号まで2,136円(税込・送料別) 134号～139号2,310円(税込・送料別) PDF版1,833円

季刊 あとはとき あはきの今を知り、未来を考える

- 創刊号 伝統医療と国際標準
- 第2号 あはきと診療ガイドライン
- 第3号 あはきと「医薬類似行為」
- 第4号 あはきと費用対効果
- 第5号 「モクサアフリカ」とは何か

- 第6号 患者さんの権利について
- 第7号 あはきQ&A
- 第8号 あはきの近未来
- 第9号 伝統医療のことはを探る
- 第10号 あはき現代史と私

定価：998円(税込・送料別) バックナンバー全巻セット8,800円(税・送料込)



カーボ鍼灸針 イーハリディスポ鍼 ヤンイーミニ

圧倒的コスパ！イーハリディスポ鍼 NRJ10R @5.4円(税別) 取扱い再開しました！

オンラインストア新規会員登録で500ポイント進呈中！ <https://yangyi.co.jp>



有限会社ヤンイー貿易 兵庫県神戸市垂水区日向2-6-29 078-742-7068

保険のことはおまかせください!

Aflac

アールワイ保険サービスは、三菱UFJ信託銀行の親密な保険代理店として、昭和22年の創業以来70年余の歴史を有し、豊富な経験と高度なノウハウを培って参りました。これからも“お客さまから信頼され喜ばれる保険の代理店”として誠意をもってサポートいたします。

ご家族様もお得な保険料で

ご加入いただけます!

ご本人様をご契約者となることで、二親等以内のご家族の方も保険料が個別取扱でご契約いただくよりも割安な団体料率でご加入いただけます。

お気軽に
お問い合わせください。
わかりやすい資料を
送らせていただきます。



アフラックの各種保険を
お取り扱いしています

がん
保険



医療
保険



保障内容など詳しくは
アールワイ保険サービスへ
お問い合わせください。

●商品の詳細については「契約概要」等をご覧ください。

資料請求いただいたお客様の個人情報の当代理店における利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。また、これらの利用目的のために当代理店がその提携先であるアフラックに登録されている代理店と共同して対応する際には、個人情報に当該代理店に提供されることにつきご了承ください。

(募集代理店) **アールワイ保険サービス株式会社 医療保険部**

〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル

フリーダイヤル 午前9時～午後5時まで

ホームページ



(引受保険会社) **アフラック** 東京第一法人営業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1

丸の内センタービル19階

Tel.03-6367-3666

0120-329-646 <https://www.ry-ins.co.jp/>

AF003-2022-0370 8月31日(230831)

科学で健康を考えるメディカルシステム
CHUO

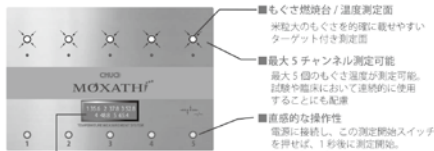
チュウオーの 灸を科学するシリーズ



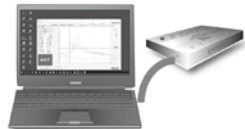
もぐさ燃焼解析システム

MOXATHi

今までは
なかった
教育 / 研究時の灸温度を
客観的に数値で測定する。



施灸有効熱量の計算：灸が皮膚に与える熱量を表示
測定結果は、PC上でグラフ化、比較、保存可能



モクス
MX-5



温灸器

バンジノプロ

医療機器登録番号 228AGBZX00118000 BS-20

使わずに安全

鍼灸施術を
いつでも
どこでも
何でも



温度切替2段階タイプ

バンジノネオ

228AGBZX00118A01

温度切替1段階タイプ

メイジノ

228AGBZX00118A02

熱鍼感覚の温灸器

一灸 IKKYU QL-19

医療機器登録番号 228AGBZX00119000



温度切替2段階タイプ

バンディQ

228AGBZX00119A01

お灸感覚の温灸器

株式会社 **チュウオー** CHUO MEDICAL SYSTEM CO.,LTD.
URL <https://chuoms.co.jp> E-mail mail@chuoms.co.jp
本社 〒665-0874 兵庫県宝塚市中筋1-9-32 TEL.(0797)88-2121(代) FAX.(0797)88-1313



鈴鹿医療科学大学保健衛生学部

しん きゅう

鍼灸サイエンス学科

鍼灸サイエンス学科
(入学定員30名)

鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸学専攻

※新認定資格

めざす資格

はり師/きゅう師 (国家資格)

AEAJ アロマテラピー検定1/2級*

JATI トレーニング指導者*

CSCS ストレngth & コンディショニングスペシャリスト*

医療薬膳師*

健康食品管理士*

* 学費以外に受験料など諸費用が別途必要です。

スポーツと運動の専門知識を兼ね備えた鍼灸師の育成

近年、スポーツ分野に鍼灸が応用されています。鍼灸・スポーツトレーナー学専攻では故障者への治療・ケガの予防・コンディショニングに関する知識や技術を学びます。国家資格を取得し治療のできるスポーツトレーナーを目指しませんか？ 両専攻とも「最新の鍼灸」や「美容鍼灸」「薬膳」を学びますが、鍼灸学専攻では「東洋医学・鍼灸学特論」としてより高度な内容を学びます。

**鍼灸サイエンス学科では、新しい資格も取得できるようになりました。
複数の資格で新たなステージへチャレンジ！**



最新の鍼灸



美容鍼灸



海外研修・留学支援



薬膳






YUKI⊕KA

YUKIOKA SCHOOL OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

学校法人 行岡保健衛生学園

 大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 (あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師)
Acupuncture and Moxibustion, Massage

〒531-0061 大阪市北区長柄西1丁目7番53号 Tel 06-6358-9271 <http://www.yukioka.ac.jp>
大阪メトロ 天神橋筋六丁目駅より徒歩5分



Open Campus開催中!

予約
不要

会場:長柄校舎

※随時個別説明も行います(要予約)

お問い合わせ

☎(06)6358-9271(代)

日程詳細はホームページ・パンフレットで
ご確認ください。



まずは参加してみよう!



LINE



HP



Instagram



Twitter

YUKIOKA_G

YUKIOKA SCHOOL OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS



学校法人 素靈学園 東洋鍼灸専門学校



鍼灸道の真髄 妙技神妙

創立者 柳谷素霊・訓



鍼灸あん摩

マッサージ指圧科

2023年4月入学生募集

募集学科		定員
鍼灸科	昼間部	30名
	夜間部	30名
鍼灸あん摩 マッサージ指圧科	昼間部	30名
	夜間部	30名

学校見学 随時開催中!!



鍼灸科

創立者 柳谷素霊復刻本
第1～6部 好評発売中!



【お問い合わせ先】
医道の日本社 TEL:0120-2161-02



〒169-0073 東京都新宿区百人町1-4-4
TEL: 03-3209-5436 FAX: 03-3209-5569
URL: <https://www.toyoshinkyu.ac.jp/>
E-mail: info@toyoshinkyu.ac.jp

- ◆JR 新大久保駅 (山手線) 徒歩 3分
- ◆JR 大久保駅 (中央・総武線) 南口 徒歩 4分
- ◆西武新宿駅北口 徒歩 4分
- ◆JR 新宿駅東口 徒歩 12分
- ◆東京メトロ副都心線 / 都営大江戸線 東新宿駅 A1 出口 徒歩 10分

健康・スポーツ・医療・リハビリ業界の10学科を持つ総合校


 スポーツの最先端を学ぶ
**スポーツマネジメント
テクノロジー科**
 4年制


**2022年4月
新専攻**




 大好きなスポーツを仕事にする
スポーツ科学科
 2年制




 ケガを施術するスペシャリスト
柔道整復科
 3年制




 医療・スポーツから美容まで幅広く活躍
鍼灸科
 3年制




 ケガ・病気など、あらゆる障がいを回復する
理学療法科
 4年制




 作業療法を通して、豊かな生活を取り戻す
作業療法科
 4年制




 命を救うための高いスキルと知識
救急救命公務員科
 3年制




 お客様の健康と美容を身近で支える存在になる
薬業科
 2年制




 歯の健康を守り、幸せな毎日をサポートする
歯科衛生士科
 3年制




 困難に直面する人々に対して、相談や援助を行う
看護科
 3年制



学校法人 滋慶学園

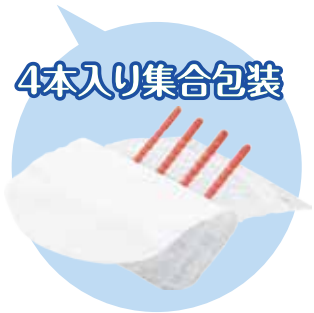
医健KEN 福岡医健・スポーツ専門学校

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 7-30 ☎0120-717-261



ELIPEAS

エリピース



刺入深度が浅い部位への施術に適した鍼

セイリン初
鍼長7mmの
プラスチック鍼柄

刺入深度が浅い部位への使用に適した鍼
J15SPで施術しにくい部位への
アプローチが可能

ノンシリコン

鍼柄の軽量化
軽量・コンパクト
(約0.03g (羽毛相当))

No.	03	02	01	1	2	3
カラーコード	ロイヤルブルー	ダークグリーン	グリーン	レッド	アイボリー	スカイブルー
線径(mm)	0.10	0.12	0.14	0.16	0.18	0.20
線長(mm)	7	7	7	7	7	7

■ELIPEASはセイリン株式会社の登録商標です。(登録番号:第6292197号)

■特許第6864800号

管理医療機器 セイリン鍼(滅菌済み鍼)

【医療機器認証番号】15500BZZ00805000

※鍼の開封方法は製品箱の中面をご覧ください。

ご使用に際しては、添付文書をよくお読みください。弊社HPの商品案内からもご覧いただけます。



■フリーダイヤル(通話料無料)はコチラから ■詳しい情報は、当社Webサイトでもご覧頂けます

 **0120-100890** <https://www.seirin.jp/>

【製造販売業者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

伝統と歴史を刻み、
進化する未来へ。

呉竹学園は、
時代に適応した人材を育成し、
社会に貢献する努力を続けます。

設置学科

鍼灸マッサージ科
鍼灸科
柔道整復科
鍼灸マッサージ教員養成科



学校法人
呉竹学園
Established 1926

<https://www.kuretake.ac.jp/>

東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12

TEL:03-3341-4043

伝統医療と現代理論の融合

東京医療専門学校は、十分な知識・技術を持った上で
柔軟な思考のできる懐の深い医療人の育成を目指します。



呉竹鍼灸柔整専門学校

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24

TEL:045-471-3731

社会の信頼と尊敬を得る医療人の育成

呉竹鍼灸柔整専門学校は、人格形成に力を注いだ教育により
社会の信頼と尊敬を得る医療人を育成します。



呉竹医療専門学校

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL:048-658-0001

社会ですぐに活躍できるあなたになるために

呉竹医療専門学校は、医の東西を問わず十分な知識と技術を備え
全人的医療を施すことのできる医療人を育成します。



— 鍼灸師の求人誌 —

はりきゅうじん

限定50院

全国の鍼灸学校等に配布予定！ 鍼灸師専門求人誌に掲載しませんか？

掲載院募集中

メイプル名古屋では就職を希望する新卒、中途採用向けの鍼灸師専門の求人誌を2023年6月に発刊することになりました！メイプル名古屋の会員様先行で、求人情報を掲載いただける鍼灸院様を先行募集します。資料請求、ご質問は下記QRコードの「お問合せフォーム」からどうぞ♪

メイプル名古屋だから実現可能な「はりきゅうじん」のメリット

1

豊富な発信方法で多くの求職者に情報が届きます。
全国85校以上の鍼灸専門学校・大学に配布予定。求職希望者には郵送対応も可能。

2

「はりきゅうじん」では掲載料金以外の料金は一切かかりません。

3

仲介なし！学生からダイレクトに求人希望の連絡が届きます。
面倒なやりとりなく採用活動が可能。



募集概要

■ 対象

① 新卒

2024年4月入社の方（2023年度3年生）
※2023年4月入社の方ではありません。

② 中途採用求人の募集

■ 募集地域：全国

（関東・関西・中部・九州・その他地域）

■ 締切：1月20日（金）まで

資料請求&お問合せ
フォームはこちら



鍼灸院医療用品の総合パートナー

株式会社メイプル名古屋

MAIPLE NAGOYA

運営

株式会社メイプル名古屋 鍼灸企画部（担当：井上）
電話番号：0120-869-758 FAX：0120-098-758
メール：recruit@maiple-nagoya.com